

【概要】

＜医療安全管理のための委員会等の設置＞

医療の安全確保とインシデント・アクシデントの発生防止を推進するため、次に定めるところにより、病院組織として医療安全関係の委員会及び部会を設置する。

1. 医療安全関係の委員会の設置

院長は、病院組織の医療安全関係の委員会として以下の委員会を設置する。委員会はそれぞれの役割に応じて医療の安全を確保し、並びに院内感染対策及び褥瘡対策等を講ずることにより、安全かつ清潔で良質な医療を提供することを目的とする。

(1) 医療安全関係の委員会の設置

①医療安全管理対策委員会

下部組織として下記の部会を持つ

・ リスクマネジメント部会

・ Rapid Response System (RRS) 部会

②感染対策委員会

③褥瘡対策委員会

④医療器機安全管理委員会

⑤透析器機安全管理委員会

⑥防火対策委員会

⑦放射線安全管理委員会

下部組織として下記の部会を持つ

・ MRI 安全運営部会

⑧医療ガス安全管理委員会

2. 医療の質・安全管理室及び医療安全関係の管理者等の設置

(1) 医療の質・安全管理室の設置

院長は、医療安全関係の各委員会で決定された方針等に基づき、組織横断的に安全で清潔な医療を推進し、インシデント・アクシデントを未然に防止するとともに、発生した事故に関する事故原因の分析、調査を行い、再発防止策を検討、協議するなど病院のリスクマネジメントを確保するとともに職員への教育や研修、職場巡視や安全医療を推進するための啓発を行う。医療の質・安全管理室は、医療安全管理対策委員会の庶務のほか院長が必要と認める業務を所管する。

(2) 医療安全管理者、医療安全管理責任者等の選任

院長は、病院全体の医療安全の中核を担う者として、医療の質・安全管理室に次の資格を有する者のうちから医療安全管理者、医療安全責任者を選任する。

そのうち副院長の職にある者を医療の質・安全管理室長とする。その他、1名以上の者を医療安全管理業務に専従する者として配置する。

①医師、薬剤師、看護師、その他の医療有資格者であること。

②厚生労働省が示す医療安全に関する研修を修了し、必要な知識を有していること。

③病院の医療の質・安全管理室に所属していること。

④病院の医療安全管理対策委員会の構成員に含まれていること。

(3) 医薬品安全管理責任者の配置

院長は、医薬品の安全使用を厳密に行うことを目的として薬剤部に医薬品安全管理責任者を配置する。

(4) 医療機器安全管理責任者の配置

院長は、医療機器の安全運用及び適正管理を目的として医療機器安全管理責任者を配置する。

(5) 医療機器放射線安全管理責任者の配置

院長は、医療放射線の適正管理を目的として医療放射線安全管理責任者を配置する。

3. インシデント・アクシデント等の調査対応組織の設置

(1) 医療安全カンファレンスの開催

医療の質・安全管理室長は、院内で発生した全てのインシデント・アクシデントを共有するとともに防止対策を検討することを目的に週に1回程度、医療安全カンファレンスを開催する。構成員は、医療の質・安全管理室長、診療局長、看護局長、医療技術局長、事務局長、薬剤部代表者、放射線部代表者、臨床検査部代表者、臨床工学部代表者、栄養部代表者、リハビリテーション部代表者及び医事課代表者などとする。

医療安全カンファレンスは、インシデント・アクシデントに対する対策を検討し必要に応じて各部署に対策立案を指示するほか医療安全管理対策委員会で検討する事例を抽出する。

(2) 臨時医療安全管理対策委員会の開催

院長は、重大なアクシデントが発生した場合、別に定める要綱に基づき臨時医療安全管理対策委員会を開催する。

(3) 院内アクシデント調査委員会の設置

臨時医療安全管理対策委員会により詳細調査が必要と判断した事例については別に定める要綱に基づき院内アクシデント調査委員会を設置する。委員会の構成員には、必要に応じて院外の適切な人員に参加を要請する。院内アクシデント調査委員会は、事故原因究明と再発防止を図る。

院内アクシデント調査委員会の結論は医療事故調査・支援センターへ報告される事がある。

－ 当院のインシデント・アクシデントの定義 －

- レベル0：患者様に直接的な影響がなく、実施される前に発見。
- レベル1：患者様への実害はなかったが、何らかの影響をあたえた可能性があるため、観察の強化や、心身の配慮が必要になる場合。
- レベル2：事故により、患者様にバイタルサイン等の変化が生じ観察の強化及び、検査の必要が生じた場合。
- レベル3a：簡単な処置や治療を要した。（消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与など）
- レベル3b：濃厚な処置や治療を要した。（バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術、入院日数の延長、外来患者の入院、骨折など）
- レベル4：事故による障害が長期にわたると推測される場合。
- レベル5：事故が死因となる場合。
- その他：盗難、器具破損など患者様には影響がない場合。

【2021年度 医療安全研修（医療安全管理対策委員会主催）】

<全職員対象>

開催日	テーマ	参加人数
6月1日（火） ～7月30日（金）	【基調講演】 職員必須の医療安全知識	580名
6月21日（月） 8月4日（木）	【学研eラーニング】 CA2101 基礎から学ぼう医療安全 ＊ID、PWを持っている看護師はeラーニングを視聴する（6/1～9/30）	364名
6月1日（月） ～9月30日（金）	【Safety Plus eラーニング】 8-14-4 情報漏えい事故	438名
12月21日（月） ～1月29日（金）	【医療技術局の医療安全研修】 ①MRIの安全講習 ～デバイスの安全性を中心に～ 放射線部 ③輸血医療 ～安心で安全な輸血を目指して～ 臨床検査部（輸血）	314名
2月1日（月） ～2月26日（金）	【リスクマネジメント部会】 リスクマネージャーの活動報告	91名

【2021年度 医療の質・安全管理室ニュース「安全速報」の発行】

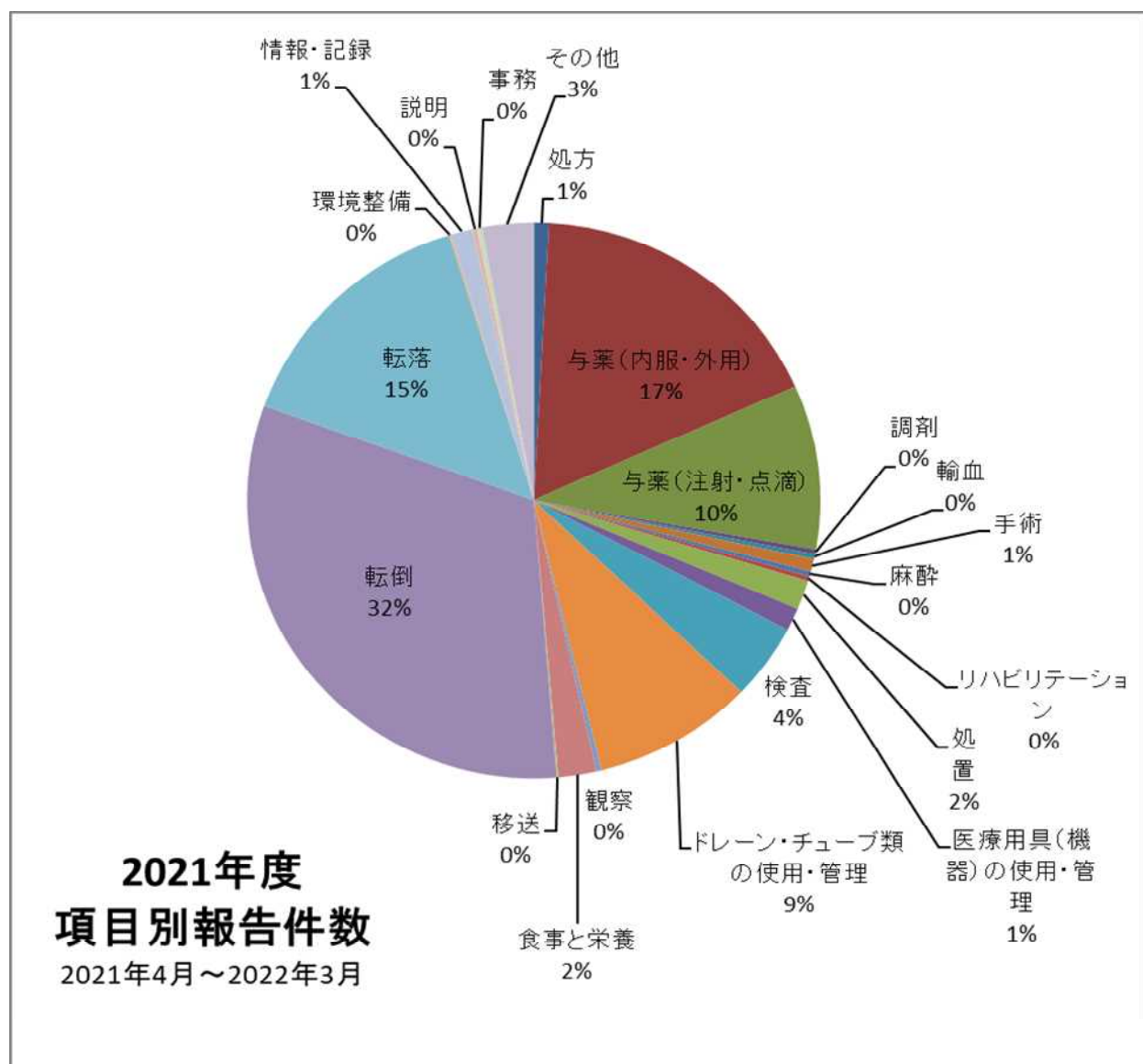
月 日	号数	内容
9月28日	安全速報 152号	ビーフリード開通不備
2月8日	安全速報 153号	医療安全研修会について

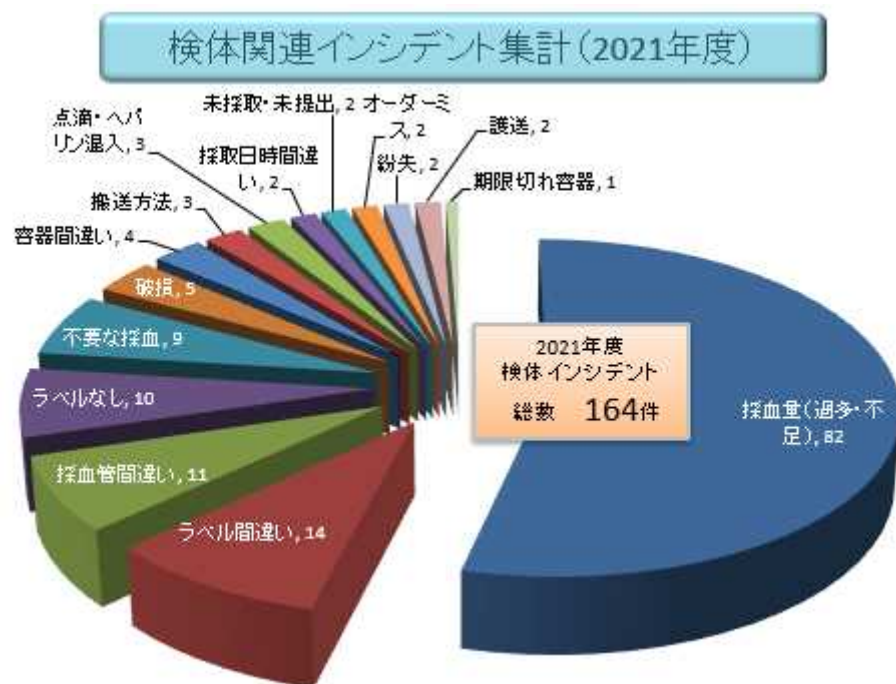
2月18日	安全速報 154号	ドレナーシルートの三活について
3月15日	安全速報 155号	患者の傍に薬剤を置いていませんか

【2021年度インシデント報告件数（年間レビューより）】

2021年4月1日～2022年3月31日 報告件数：1066件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
処方	1	0	2	0	2	1	0	0	1	1	1	0	9
薬剤関係	23	30	40	18	29	22	19	8	38	22	23	16	288
調剤	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
輸血	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	3
手術	1	0	0	0	0	2	1	2	0	0	0	2	8
麻酔	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	3
リハビリテーション	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	3
処置	2	0	0	1	1	2	0	4	6	0	1	1	18
医療用具（機器）の使用・管理	1	0	2	1	2	0	1	0	2	2	1	2	14
検査	7	5	1	3	4	2	0	6	4	5	3	7	47
デバイス類の使用・管理	9	5	10	7	1	14	6	7	12	11	7	8	97
観察	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	3
食事と栄養	3	3	3	0	0	3	3	1	1	5	0	1	23
移送	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
転倒・転落	46	35	50	47	52	37	38	29	40	52	29	40	495
環境整備	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
情報・記録	4	1	3	0	0	2	0	0	0	2	1	0	13
説明	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	3
事務	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	3
その他	5	3	4	4	0	1	1	2	2	3	2	4	31
計	105	84	116	84	94	87	70	60	109	105	69	83	1066





【2021 年度 学会報告】

- ・ 2021. 06. 10～06. 11 第 71 回 日本病院学会 (WEB 開催)
「内服事故減少への取り組み ～指さし呼称を考える～」
桑野 暢子 他 7 名 (RM 部会のグループワークより)
- ・ 2021. 11. 05～11. 06 第 59 回 自治体病院学会 (奈良県で開催)
「当院におけるピアサポートに関する意識についてのアンケート調査」
永尾 光 他 5 名 (RM 部会のグループワークより)
- ・ 2021. 11. 27～11. 28 第 16 回医療の質・安全学会 学術集会 (WEB 開催)
「新しい会議形式におけるグループワークとその支援を考える」
山中 利加 (当院 医療安全管理者)

感染管理室

<主な業務>

感染対策の推進

- ・ 関連委員会、会議の庶務
- ・ AST カンファレンス
- ・ ICT ラウンド
- ・ 医療関連感染サーベイランス
- ・ マニュアル作成・改訂
- ・ 感染管理コンサルテーション
- ・ 職業感染防止
- ・ 教育・研修企画及び運営
- ・ 感染症発生動向調査事業に関すること

<2021 年度実績・活動内容>

○関連委員会、会議の庶務

- ・ 感染対策委員会：毎月第 4 月曜日
- ・ ICT 会議：1 回
- ・ 感染症発生に伴う緊急会議：2 回
- ・ 新型コロナ感染症対策本部会議：45 回

○感染防止対策加算・感染防止対策地域連携加算に伴う活動

- ・ 合同カンファレンス：琵琶湖養育院病院、ひかり病院 (6・9・11 月)
- ・ 8 施設合同カンファレンス：大津赤十字病院、独立行政法人地域医療機能推進機構 滋賀病院、大津赤十字志賀病院、琵琶湖大橋病院、琵琶湖中央病院、琵琶湖養育院病院、ひかり病院 (3 月)
- ・ 相互ラウンド：独立行政法人地域医療機能推進機構 滋賀病院より評価 (8 月)
大津赤十字病院を評価 (11 月)
大津赤十字病院より評価 (12 月)

○AST カンファレンス：毎週水曜日

〈カンファレンス〉対象：血液培養陽性者、抗 MRSA 薬使用者、カルバペネム長期使用者、
タゾバクタム・ピペラシリン長期使用者

- ・カンファレンス回数：51 回
- ・延べ対象患者数：666 人
- ・延べカンファレンス時間：41 時間 27 分

○ICT ラウンド：毎週水曜日

〈耐性菌ラウンド〉対象：耐性菌検出患者

〈環境ラウンド〉対象：病棟以外の部署

○医療関連感染サーベイランス

- ・中心ライン関連血流感染
- ・尿道留置カテーテル関連尿路感染
- ・耐性菌
- ・抗菌薬使用量
- ・手指衛生
- ・針刺し切創・血液体液曝露

○感染対策研修会

開催月	テーマ	対象	講師
4 月	感染対策の基本	新規採用者 (医師、医療技術職、看護師)	感染管理認定看護師
6～7 月	感染対策の基本 (DVD 視聴)	全職員	感染管理認定看護師
8～9 月	新型コロナウイルス感染症と AST の活動について (DVD 視聴)	全職員	医師
9 月	感染対策の基本	事務職・補助員	感染管理認定看護師
10～11 月	環境整備について (DVD 視聴)	全職員	感染管理認定看護師
12～1 月	臨床上大切な微生物と抗菌薬につ いて (DVD 視聴)	全職員	臨床検査技師 薬剤師

○ICT ニュースの発行

号数	発行日	テーマ
第 30 号	1 月 10 日	個人防護具について

スキンケア外来

スキンケア外来は、皮膚・排泄ケア認定看護師が運営に携わり、主にストーマ保有者の社会復帰への促進、スキントラブルの予防、QOL の向上等を目的に支援しています。

近年対象者は高齢化が進んでいる事や化学療法・放射線療法を受けている担癌患者さんなど、背景も多様化しています。

特に高齢者は在宅への移行時に、地域医療システム（医療スタッフ）との連携が必要になるため、実際にストーマケアを担う方との情報交換なども積極的に行っています。

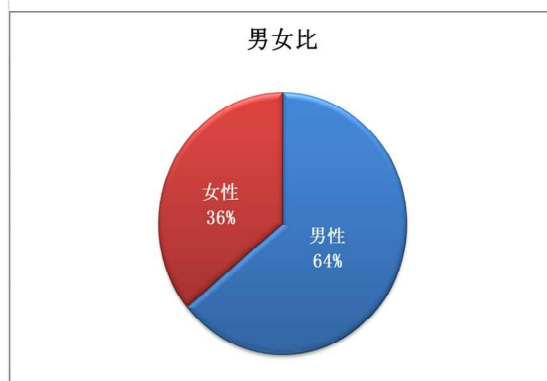
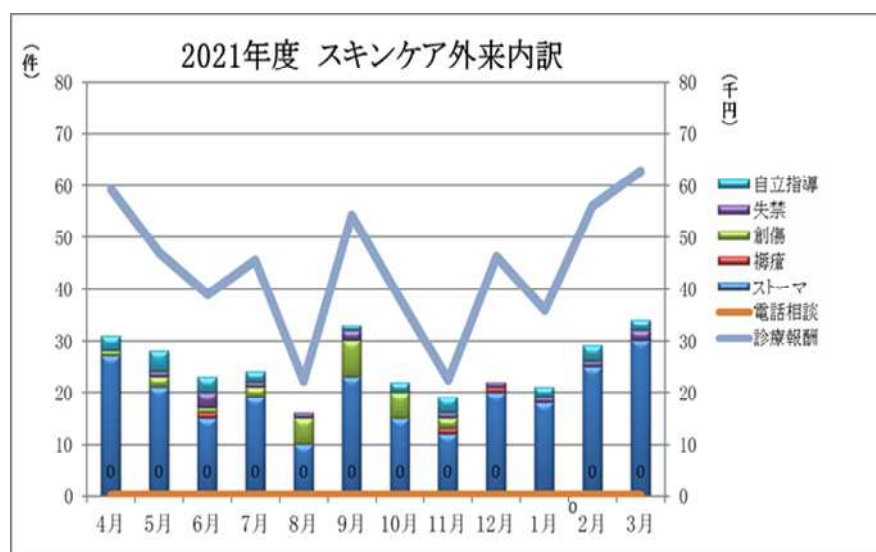
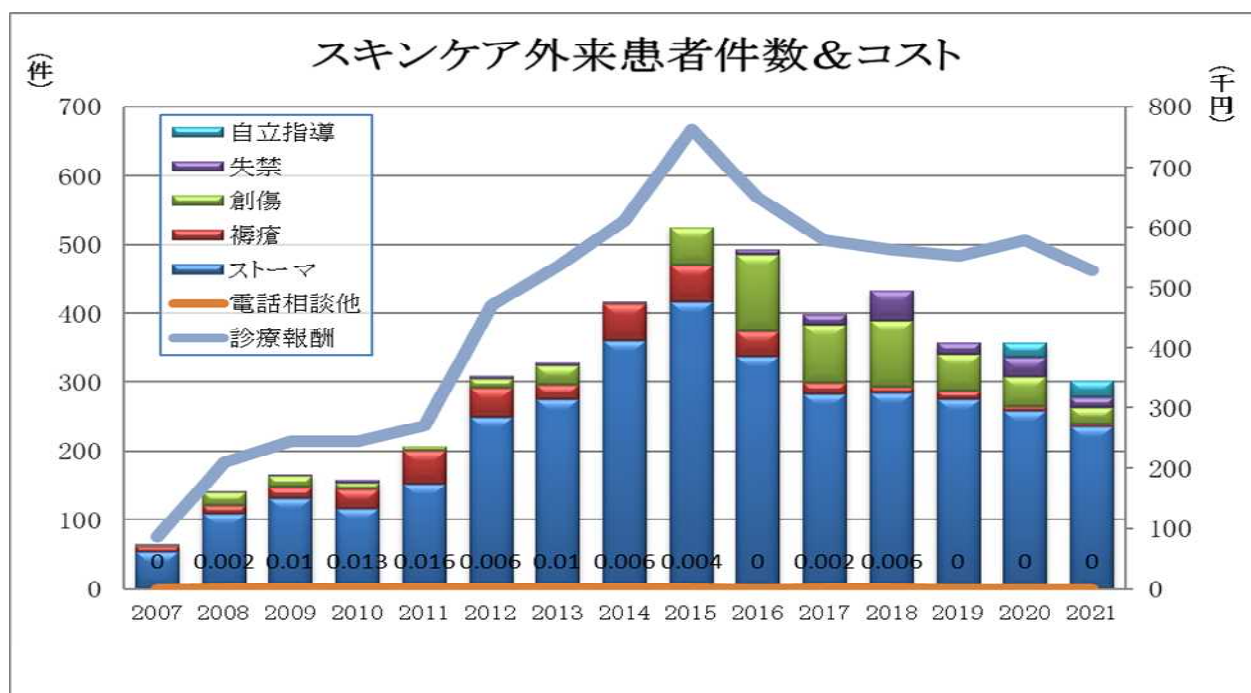
また創傷ケアの一環として、乳腺外科の医師とともに癌性創傷（自壊創を含む）や手術創の治癒遅延などに対しケアを提供しています。在院日数の短縮化に伴い、在宅でも継続して創傷処置が必要な場合や、「1日でも早く退院したい」、「1日でも長く自宅にいたい」と思う患者さんの気持ちを大切にし、在宅でもセルフケアが可能な方法を一緒に考え、実践しています。

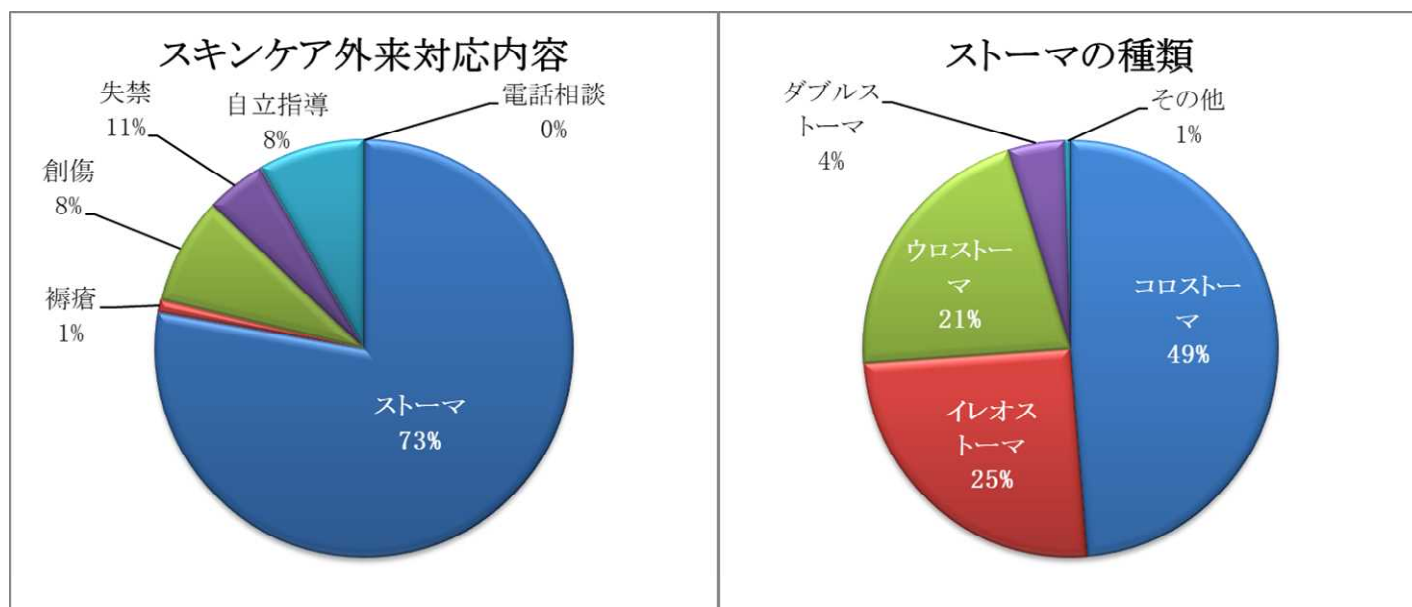
褥瘡がある患者さんには、ご家族や日々ケアされる訪問看護師さんをはじめ在宅関連職種とともに、生活環境や補助用具の見直しや提案等を行いながら、皮膚科医師とともに生活の場で発生する褥瘡の予防や治癒に向けて地域連携およびキーパーソンへの支援を実施しています。

2018年からは「専門性の高い訪問看護※1」として患者宅を訪問しています。褥瘡治癒や予防にむけて、ご家族や訪問看護師さんへ褥瘡処置の方法、日常生活のなかにある褥瘡発生要因や予防ケアについてもアドバイスを行っています。

失禁に対する相談では、術後の尿失禁に対する骨盤底筋体操の指導をはじめ、尿失禁、便失禁で悩まれる患者さんの気持ちに寄り合いながら、QOLの向上を目的にスキントラブルの予防や経済性を考慮したケアの相談に応じています。

※1：在宅患者訪問看護・指導料：ストーマ保有、真皮を超える褥瘡の状態にある在宅療養中の患者について、訪問看護ステーションの看護師が同一日に訪問する。市立大津市民病院に受診歴がなくても可能です。





【褥瘡対策】

褥瘡対策では、褥瘡対策委員会（褥瘡対策チーム）と看護局褥瘡対策委員会、褥瘡管理者（皮膚・排泄ケア認定看護師）が多職種協働でチーム医療を実践しています。

【褥瘡発生状況】

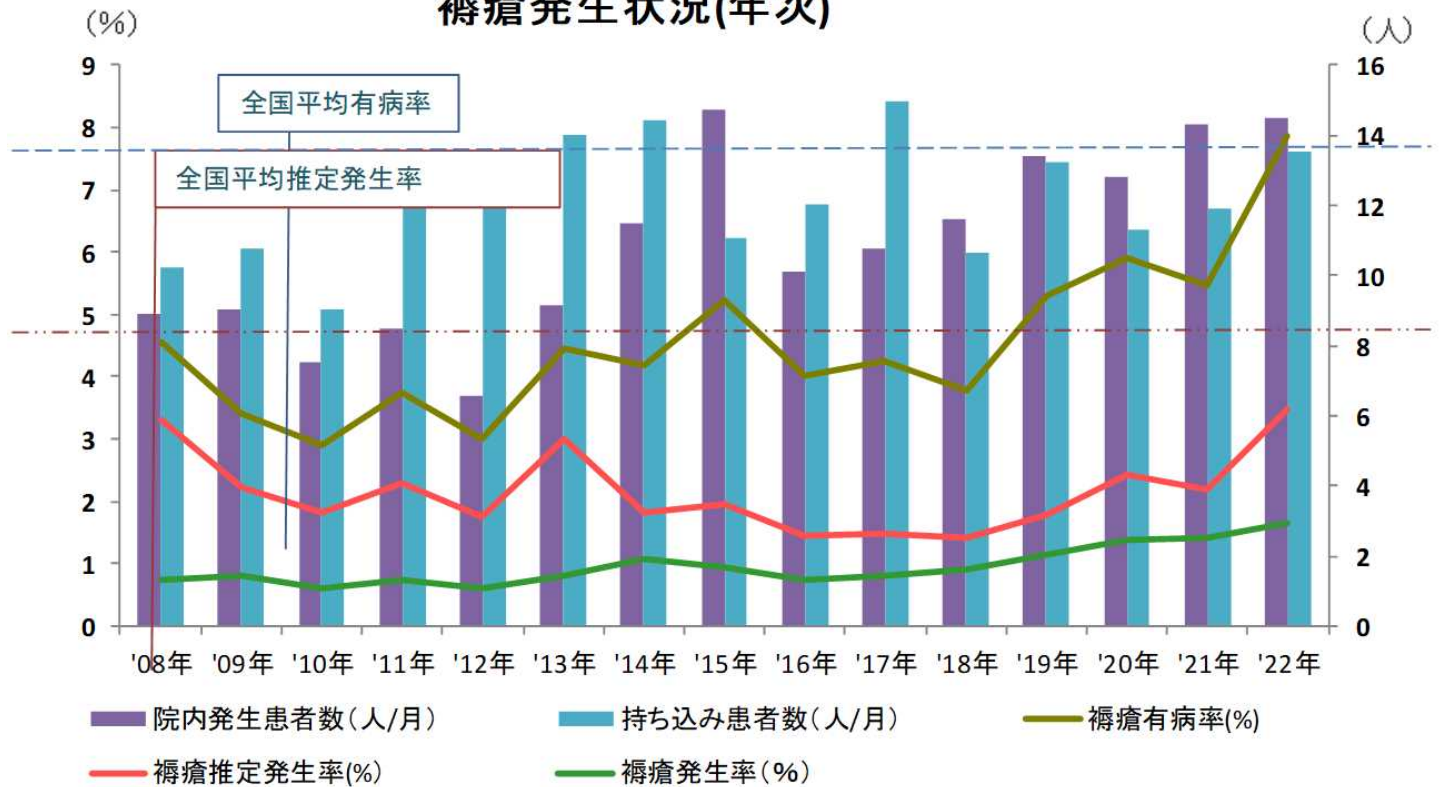
当院における、2021年度の褥瘡発生率は2.02%で一般病院の平均の約2倍、褥瘡有病率は5.26%で約2.5倍となっています。その背景として、入院患者数の半数以上が後期高齢者であり、そのうちの約8割が日常生活自立度B・Cランクに該当していることや入院の必要性がある高齢者では、状態によって個体要因が褥瘡発生に大きく関与することが挙げられます。また、地域包括ケアシステムの推進による地域や在宅でのケアの充足もあり、褥瘡発生場所も、これまでは院外発生（地域からの持ち込み）が院内発生を上回っていましたが、近年は逆転が続いています。

褥瘡発生部位は、院内外ともに仙骨部、殿部、踵部が上位となっています。4位は、院内発生で尾骨部が多く、院外では大転子部が多くなっています。院内では食事介助時のベッドアップ坐位や臥床時でも誤嚥を予防するために、頭側を挙上している場合があり、尾骨や踵部に圧迫とずれが加わり、褥瘡発生していることが予測されます。病棟スタッフへ、頭側挙上の際は下肢から挙上し、次いで頭側を挙上すること、セッティング後には背部、殿部、下肢の圧抜きを徹底して行うよう依頼しています。院外では主に臥床体位での好発部位に発生しています。療養環境や介護力、サービス利用の有無などが関与していると考えられることから、日常生活における褥瘡発生要因や不足しているケアを明らかにする必要があります。院外での発生については、地域の医療者や家族と患者の日常生活について情報共有しながら、発生要因や予防ケアについて情報提供や指導を行っています。

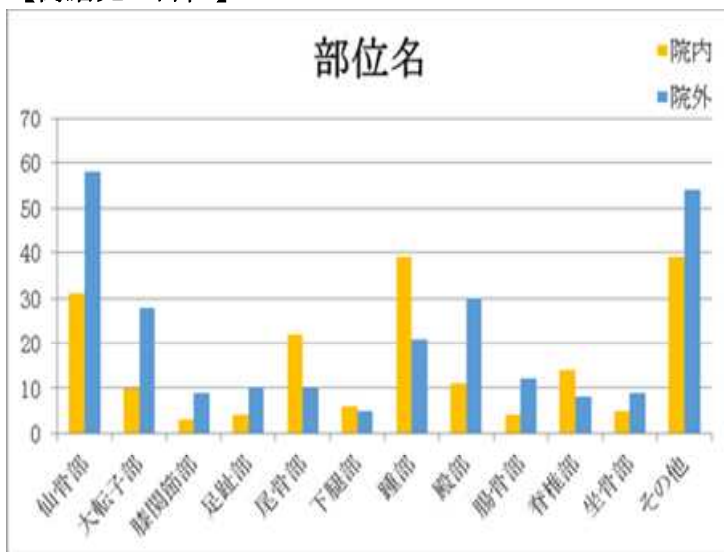
褥瘡回診は毎週水曜日に行っており、2021年度の1回の回診対象者数の平均は4～5名です。しかしながら、褥瘡発生件数（褥瘡発生箇所数）は月平均で約1.5～2.0倍となっています。その要因として、一人暮らしの高齢者が、脳血管疾患や脱水、転倒などを機に体動困難となり、発見までに時間を要した場合、偶発性褥瘡を複数箇所保有して入院となることが挙げられます。院内においては、全身状態が不良な患者において褥瘡再発を繰り返し、1人の患者が複数回、回診の対象となる事もあります。

高齢者の人口増加が続くなか、それに伴い褥瘡発生リスクも高まります。院内外の褥瘡発生要因について分析し、適切なケア介入を行う事によって、皮膚の損傷を予防する必要があります。当院では、褥瘡対策チームを中心に、多職種が協働して入院患者の持ち込み褥瘡の早期治癒、新規発生予防に取り組むとともに、退院に向けて、患者がシームレスにケアを受けられるよう、継続の必要がある処置やケアについて地域の医療者や家族に向けて情報提供や支援を行っています。

褥瘡発生状況(年次)



【褥瘡発生部位】



【2021年度褥瘡回診】

年月	日数	時間(分)	人数
2021/04	4	120	18
2021/05	3	75	8
2021/06	5	165	21
2021/07	4	180	17
2021/08	5	110	13
2021/09	5	215	26
2021/10	4	103	16
2021/11	3	120	10
2021/12	4	195	22
2022/01	4	130	14
2022/02	3	165	16
2022/03	5	270	30
計	49	1848	211

※回診対象者：

新規褥瘡発生・もち込み患者さんの中で、
褥瘡深度がNPUAPⅡ度以上の方

【褥瘡対策研修会】

主催	テーマ	日時	講師	対象
褥瘡対策委員会	DESIGN®から DESIGN-R® そして DESIGN-R2020®へ その変更の要点について	2022. 1. 20-5. 09	大津 陽子	看護職
	SKIN-TEAR STAR 分類について	2022. 1. 20-5. 09	大坪 有紀子	看護職

地域医療連携室

【診療科別開放型病床利用数・紹介入院患者数】

(単位：人)

診療科	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
内 科	9	19	11	15	16	7	2	0	0	1
	238	248	392	556	760	673	644	606	596	677
消化器内科	6	8	4	0	8	4	1	0	0	2
	317	368	385	507	496	426	324	270	267	221
呼吸器内科	2	0	2	4	3	0	1	2	5	3
	45	55	85	109	128	136	110	109	98	70
小 児 科	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0
	120	110	158	123	220	208	228	232	49	94
外 科	2	4	4	2	7	6	0	0	0	0
	133	150	180	300	314	229	158	170	163	132
整形外科	0	3	1	0	2	0	2	0	1	0
	85	84	160	203	142	193	132	131	99	86
産婦人科	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0
	97	122	180	292	242	156	125	13	3	1
眼 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	55	60	115	295	229	124	74	101	20	33
耳鼻咽喉科	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0
	44	41	66	149	126	66	52	61	50	53
泌尿器科	0	0	2	1	11	1	0	0	0	0
	85	89	83	133	181	138	124	127	102	84
皮膚科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	24	26	54	40	51	41	42	29	18	29
歯科口腔外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	417	363	184	334	281	248	243	255	190	195
放射線科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脳神経外科	2	5	3	4	2	1	0	0	1	1
	116	90	164	150	147	75	76	64	44	68
脳神経内科	8	5	4	7	11	4	6	0	4	1
	57	79	163	137	143	114	83	73	48	62
心臓血管外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25	19	32	28	38	42	22	30	26	23
呼吸器外科	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	40	34	47	64	50	55	44	51	39	33
循環器内科	1	5	12	9	1	6	7	1	2	0
	91	103	128	176	164	152	154	130	105	103
精神・心療内科	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	3	3	4	11	2	5	4	1	2
緩和ケア科	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	70	95	92	45	124	125	93	100	19	18
合 計	31	56	49	44	62	29	19	3	13	8
	2,061	2,139	2,671	3,645	3,847	3,203	2,733	2,556	1,937	1984

上段：開放型病床利用者数

下段：紹介入院患者数

【2021 年度 特殊検査依頼予約件数】

(単位：件)

検 査 項 目	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
X 線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
骨 塩 定 量	1	1	2	1	0	1	2	1	1	0	3	1	14
上部消化管内視鏡	22	12	15	24	20	22	29	26	27	16	12	19	244
大腸ファイバー	7	9	12	10	12	7	20	23	18	10	5	8	141
腹部超音波検査	2	2	1	1	1	4	3	3	5	1	4	1	28
心臓超音波検査	2	1	2	2	0	0	0	1	0	0	0	0	8
その他超音波検査	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
M R I	84	63	87	71	60	76	82	100	82	71	73	60	909
C T スキャン	28	31	29	29	28	35	44	39	29	45	28	21	386
R I 検 査	0	0	3	1	0	0	0	0	0	2	0	0	6
そ の 他	1	1	9	2	4	4	3	1	3	0	0	0	28
合 計	147	120	160	141	125	149	183	195	166	145	125	110	1,766
2020 年度合計	54	30	128	143	109	156	188	173	106	123	128	176	1,514
増 減	93	90	32	△2	16	△7	△5	22	60	22	△3	△66	252

【2021 年度 一般患者診察依頼件数】

(単位：件)

診 療 科	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
内 科	101	100	86	85	76	88	61	82	62	59	72	44	916
消 化 器 内 科	75	67	68	69	72	66	104	103	87	78	56	40	885
呼 吸 器 内 科	19	16	20	20	24	28	30	58	53	30	41	26	365
小 児 科	46	58	58	30	38	20	34	25	26	36	48	23	442
外 科	19	16	15	16	14	12	23	16	22	18	5	3	179
整 形 外 科	30	26	34	34	35	39	39	50	8	28	36	27	386
産 婦 人 科	6	5	3	1	2	1	6	4	4	3	2	1	38
眼 科	11	13	5	15	13	16	26	20	15	18	15	12	179
耳 鼻 咽 喉 科	27	15	25	17	17	27	24	19	32	28	16	19	266
泌 尿 器 科	19	20	17	20	24	18	19	26	22	21	16	19	241
皮 膚 科	18	23	32	27	23	26	25	27	28	27	22	21	299
形 成 外 科	4	1	1	3	1	0	0	1	4	5	0	2	22
歯 科 口 腔 外 科	83	57	68	89	85	77	86	93	76	79	77	72	942
脳 神 経 外 科	38	26	39	32	33	31	45	36	35	30	34	17	396
心 臓 血 管 外 科	9	4	15	8	6	6	11	11	6	3	8	5	92
呼 吸 器 外 科	1	5	1	3	4	2	3	0	2	3	1	1	26
脳 神 経 内 科	36	23	26	32	29	30	37	30	24	28	29	17	341
循 環 器 内 科	26	20	24	21	26	25	34	41	39	22	18	16	312
精 神 ・ 心 療 内 科	8	6	9	20	19	16	16	16	11	18	22	9	170
緩 和 ケ ア 科	0	1	2	1	0	0	2	0	11	9	14	13	53
合 計	576	502	548	543	541	528	625	658	567	543	532	387	6550
2020 年度合計	230	158	407	464	393	479	547	528	493	442	470	636	5,247
増 減	346	344	141	79	148	49	78	130	74	101	62	△249	1,303

【開放型病床利用状況】

区 分	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	増減 (2020-2021)
利用入院患者数	29	20	8	14	9	△5
(月平均)	2.4	1.7	0.7	1.2	0.8	△0.4
利用入院患者延人員	544	377	59	253	130	△123
(月平均)	45.3	31.4	4.9	28.1	10.8	△17.3
平均在院日数	18.8	18.8	19.7	24.0	14.4	△9.6
開放型病床利用率(%)	30.2	20.9	3.2	18.7	7.2	△11.5
利用登録医師数	12	9	12	19	14	△5
(月平均)	1.0	0.8	1.0	1.6	1.1	△0.5
共同指導回数	43	31	8	16	11	△5
(月平均)	3.6	2.6	0.7	1.3	0.9	△0.4

【2021 年度 救急受入件数 (診療科別・搬入経路別)】

(単位：件)

診療科	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
内 科	469	569	374	432	745	422	292	263	264	679	607	457	5573	464
消化器内科	76	87	85	76	89	90	98	87	113	90	53	64	1008	84
呼吸器内科	22	17	22	24	11	19	21	23	17	39	62	43	320	27
小 児 科	85	119	94	107	135	78	81	74	61	116	115	171	1236	103
外 科	11	31	29	34	37	40	40	28	39	31	18	15	353	29
整形外科	98	104	121	101	119	94	125	127	145	117	75	70	1296	108
産婦人科	3	4	1	1	4	3	5	2	5	1	4	3	36	3
眼 科	1	0	2	3	1	6	3	8	10	2	1	1	38	3
耳鼻咽喉科	26	40	44	49	36	38	54	54	46	41	26	31	485	40
泌尿器科	36	28	37	35	51	34	43	36	40	43	26	21	430	36
皮膚科	103	134	132	147	143	126	108	133	137	136	62	94	1455	121
形成外科	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.2
歯科口腔外科	0	1	0	7	1	2	4	1	6	2	1	3	28	2.3
脳神経外科	55	74	63	60	69	54	82	105	113	82	47	65	869	72
心臓血管外科	3	10	4	4	2	4	3	2	5	1	4	3	45	3.8
呼吸器外科	1	6	3	1	6	5	4	5	6	4	4	5	50	4.2
脳神経内科	35	36	42	37	35	39	47	42	55	26	26	19	439	36.6
循環器内科	25	38	28	34	31	54	48	43	53	32	23	35	444	37
精神・心療内科	15	14	9	16	18	17	15	11	13	5	12	10	155	12.9
緩和ケア科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	5	0.4
合 計	1065	1312	1090	1170	1533	1125	1073	1044	1128	1448	1168	1111	14267	1189

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
交通外傷	17	9	23	16	21	16	29	38	34	18	17	8	246	21
紹介	21	18	19	28	20	24	26	23	33	16	34	37	299	25

搬入経路	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
一般	811	1111	790	923	1342	879	796	731	825	1469	1517	1037	12231	1019
救急	256	296	305	315	383	282	303	319	340	301	324	250	3674	306
へり	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3	0.3
合計	1067	1408	1095	1238	1725	1162	1100	1050	1165	1770	1841	1287	15908	1326

【2021 度地域医療支援研修会実施報告】

部署	開催日	講座名称及びテーマ	参加人数		担当者
			院内	院外	
大津市医師会	7月31日	イブニングセミナー 消化器領域のHot Topics	4	20	消化器内科 医長 城 正泰
	8月26日	例会時討論会 「新型コロナウイルス感染防止の現状と今後の備えについて」	2	36	感染症科 診療部長 大江 秀典
	8月26日	第12回大津消化器カンファレンス(紹介症例から学ぶ消化器診療のUp to date 2021) 「酸分泌抑制薬の最近の話題/当院で診断した自己免疫膵炎症例の検討」 「当院における肛門疾患の近況報告」	14	15	消化器内科 高倉 駿 外科・消化器外科・乳腺外科 医長 戸田 孝祐
	8月28日	第3回大津市他職種連携多職種連携緩和ケアセミナー 「withコロナ、post コロナにおける緩和ケアのかたち」	8	72	緩和ケア科 診療部長 津田 真
	9月11日	第19回大津消化器疾患研究会(コロナ禍における消化器疾患治療) 「新型コロナウイルス感染症蔓延期における当院での内視鏡診療の取り組み」	7	28	消化器内科 医長 全 圭夏
	9月18日	サタディセミナーパート2 「ADPKD の進行をどう抑えるか? Long Team eGFRplot からみえてくる早期介入の重要性」	1	19	内科 診療部長(腎臓部門) 中澤 純
	11月4日	令和3年度大津市議会議員との懇談会について 「新型コロナウイルス感染症～市立大津市民病院の現状について～」	2	34	感染症科 診療部長 大江 秀典
大津市医師会雑誌	4月号	Sweet 病の1例			皮膚科診療部長 貫野 賢
	7月号	初診時眼窩蜂巣炎と診断された顔面帯状疱疹ヘルペスの1例			眼科診療部長 小池 保志
	10月号	スリガラス陰影を呈する小型肺癌に対し積極的に縮小手術を選択した1例～非小細胞肺癌手術の大きな転機を見据えて～			呼吸器外科 診療部長 常塚 啓彰

部	署	回数	院 内	院 外	合 計
薬	剤	部	0	0	0
看	護	局	0	0	0
緩	和	ケ	ア	病	棟
地	域	医	療	連	携
総	合	内	科		
N	S	T	委	員	会
救	急	診	療	科	
化	学	療	法	委	員
そ	の	他			
合	計				

入退院センター

<病床管理>

【予定入院・緊急入院数】

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2020年度	予定入院	288	168	267	355	318	347	334	343	317	256	300	351	3,644
	緊急入院	216	194	263	295	330	256	300	278	325	223	237	288	3,205
2021年度	予定入院	290	289	318	303	346	302	315	328	327	320	303	307	3,748
	緊急入院	296	340	332	308	377	331	273	283	293	312	328	251	3,724

<入院支援>

【予定入院オーダーに対する来室割合】

(単位：%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2020年度	88.3%	90.6%	86.3%	87.5%	86.1%	88.8%	98.2%	98.4%	98.1%	95.6%	105.3%	112.5%	94.6%
2021年度	104.0%	106.6%	103.1%	109.6%	122.6%	123.3%	121.2%	119.0%	109.3%	117.7%	113.9%	108.0%	113.2%

【入院時支援を行った割合】

(単位：%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2020年度	97.5%	93.9%	96.0%	95.8%	97.7%	97.6%	97.6%	97.5%	97.2%	98.9%	98.0%	98.2%	97.2%
2021年度	97.2%	96.6%	98.8%	97.3%	98.6%	98.2%	98.7%	98.1%	98.3%	99.3%	99.1%	99.6%	98.3%

<退院支援>

【入院患者数に対する相談件数（2019年～2021年度）】

	入院患者数	相談件数（延べ）	入院患者に対する相談件数割合
2019年度	8,484	3,146	37.1%
2020年度	6,871	3,732	54.3%
2021年度	7,472	3,991	53.4%

【相談内容別件数（2019年度～2021年度）】

	医療費	公的制度相談	転院（施設含む） 相談	在宅・介護相談	その他	合計
2019年度	18	61	756	1,762	549	3,146
2020年度	21	45	791	2,154	721	3,732
2021年度	20	50	897	2,220	804	3,991

患者相談支援室

【2021年度 相談件数 月別実績（2021.4.1～2022.3.31）】

2021年度 総合相談、ご意見、がん相談 相談件数 月別実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間 合計
総合相談	相 談	91	88	123	112	149	89	69	76	82	112	118	90	1,199
	※対応時間(1)	1,464	1,820	2,885	2,112	2,253	1,643	1,628	1,575	1,603	1,978	2,060	1,865	22,886
	※対応時間(2)	181	541	880	533	453	334	270	97	338	373	673	165	4,838
	総対応時間	1,645	1,361	3,725	2,645	2,706	1,977	1,898	1,672	1,941	2,351	2,733	2,030	26,684
ご意見箱	相 談	6	7	8	3	10	14	11	8	14	5	12	16	114
	対応時間	120	180	140	60	40	98	215	125	235	63	82	186	1,424
がん相談	相 談	1	8	5	4	2	2	1	2	4	1	1	2	33
	対応時間	5	266	232	240	45	49	60	60	248	8	43	43	1,299
総合相談1件 平均時間		18	26	30	23	18	22	27	22	23	20	23	22	23
ご意見箱1件 平均時間		20	26	18	20	4	7	20	16	17	13	7	12	15
がん相談1件 平均時間		5	30	46	60	19	25	60	30	62	8	43	22	34

※対応時間（1）は直接対応時間。対応時間（2）は調査・協議等の間接対応。

【2020年度 患者相談支援室 総合相談対応実績（2021.4.1～2022.3.31）】

図1 総合相談対応件数と時間の月別比較



図2 総合相談対応件数と時間の月別比較

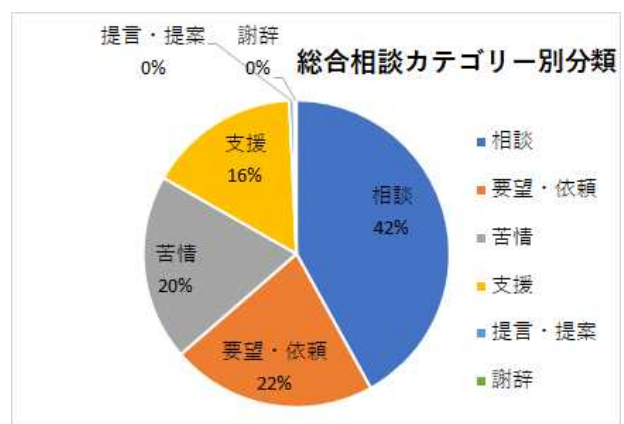


図3 総合相談 相談方法

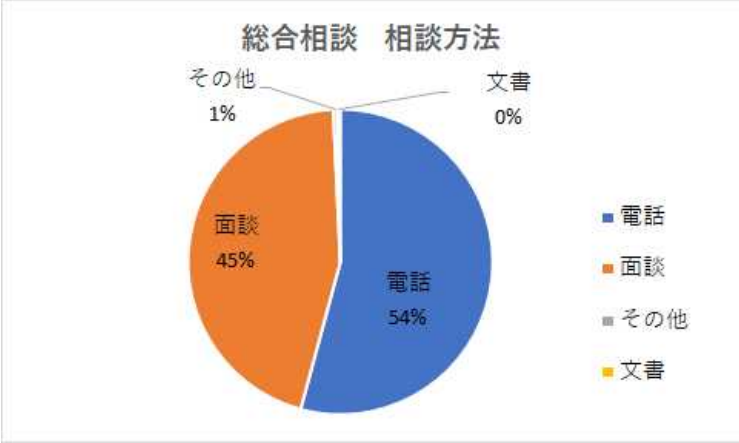


図4 総合相談 対象者の性別

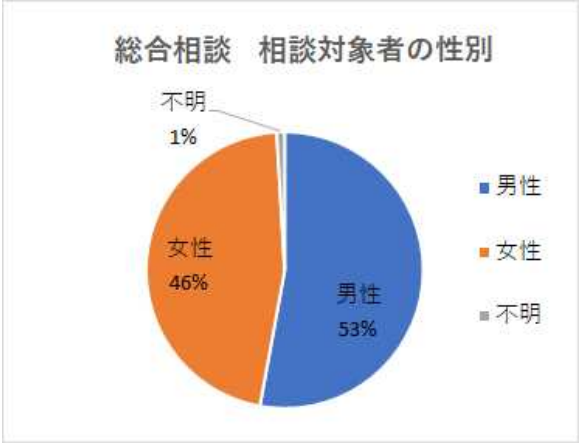


図5 総合相談 相談依頼者

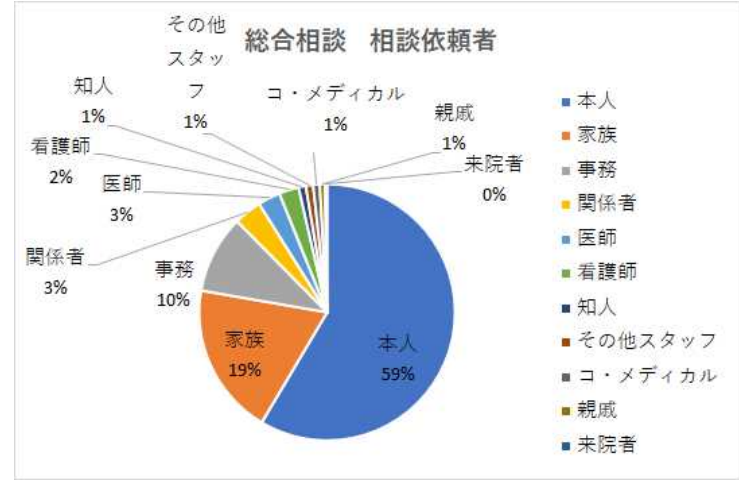


図6 総合相談 対象者の年代

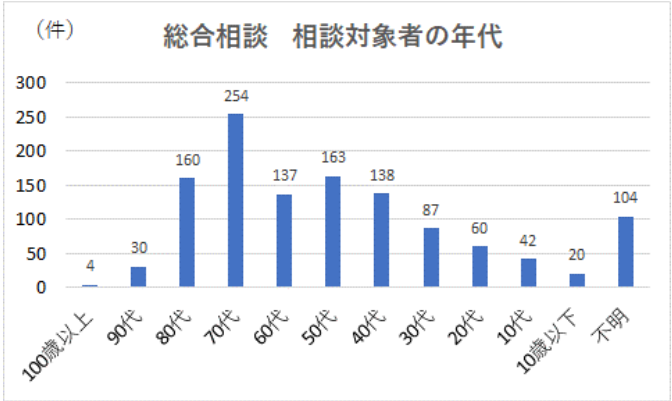


図7 総合相談 相談内容

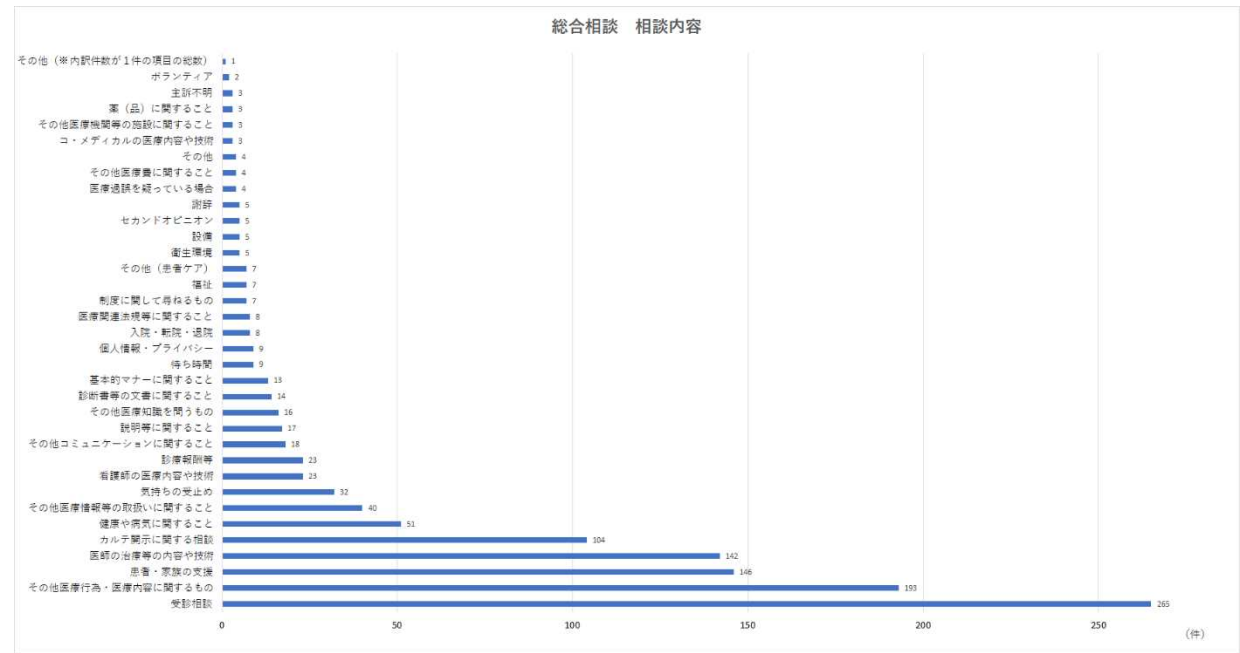


図8 総合相談評価 依頼者満足度

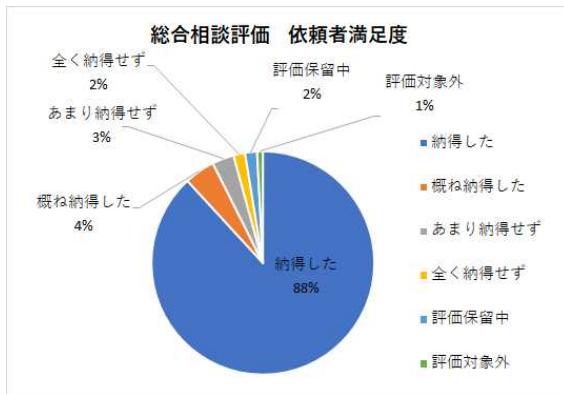
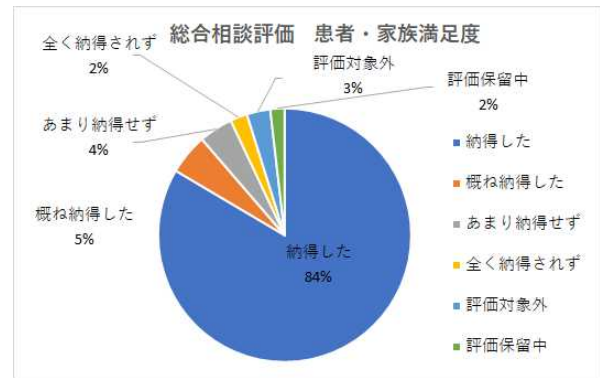


図9 総合相談評価 患者・家族満足度

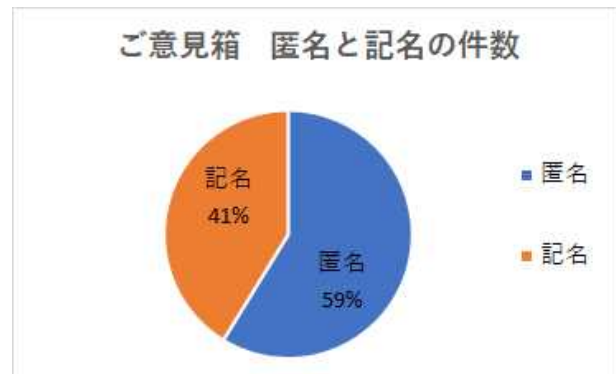


【2021 年度 患者相談支援室 ご意見箱の対応実績 (2021. 4. 1～2022. 3. 31)】

図10 ご意見箱の対応件数と時間の月別比較



図11 ご意見箱 匿名と記名の件数



【2021 年度 がん相談実績 (2021. 4. 1～2022. 3. 31)】

図12 がん相談の対応件数と時間の月別比較



図13 がん相談 相談対象者の性別

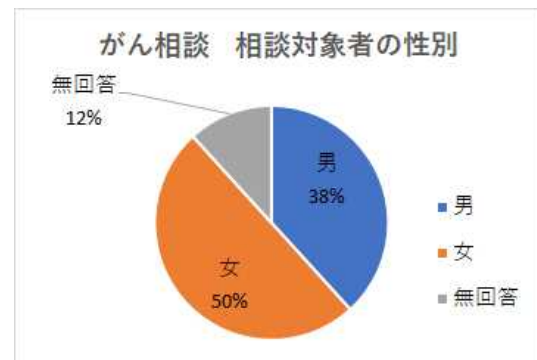


図14 がん相談 相談方法

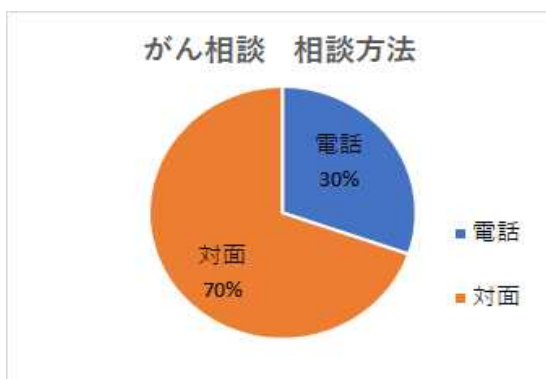


図15 がん相談 相談対象者の職種

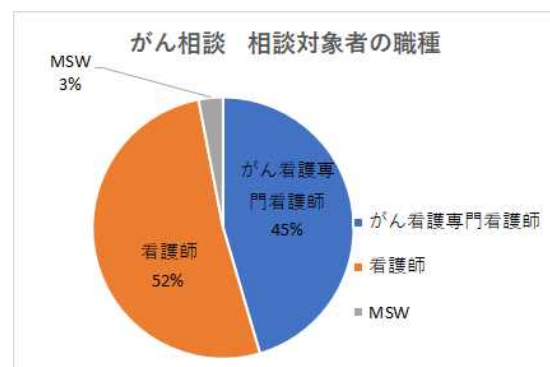


図 16 がん相談 相談対象者の年代

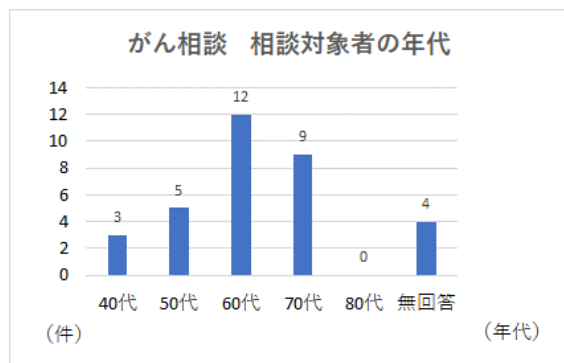


図 17 がん相談 相談依頼者

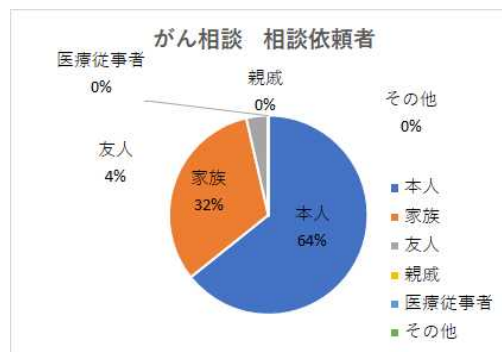


図 18 がん相談 相談対応者の受診状況

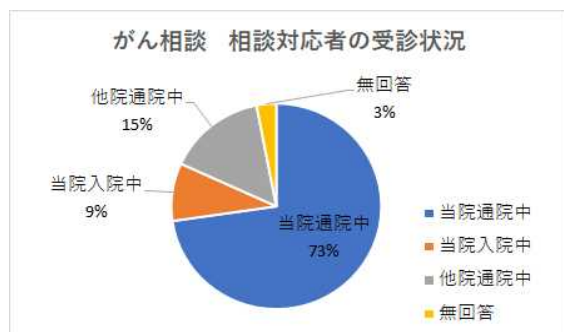


図 19 がん相談 相談回数

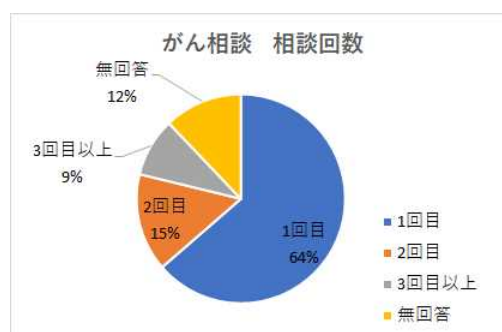


図 20 がん相談評価 相談役立ち度

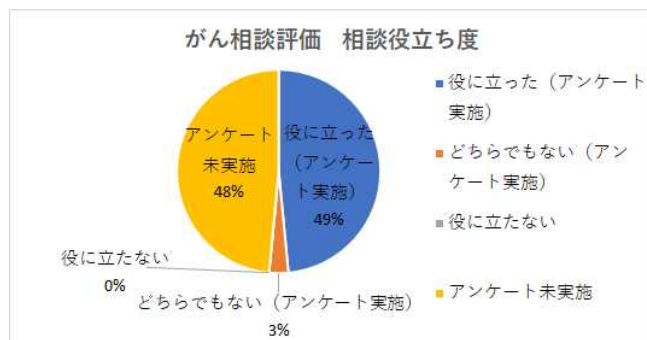
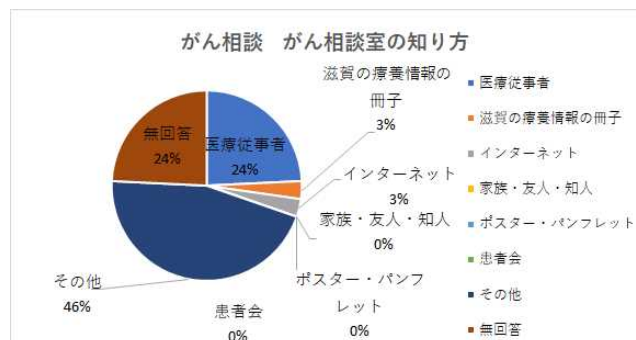


図 21 がん相談 がん相談室の知り方



訪問看護ステーション

【利用者数の推移】

(単位：人)

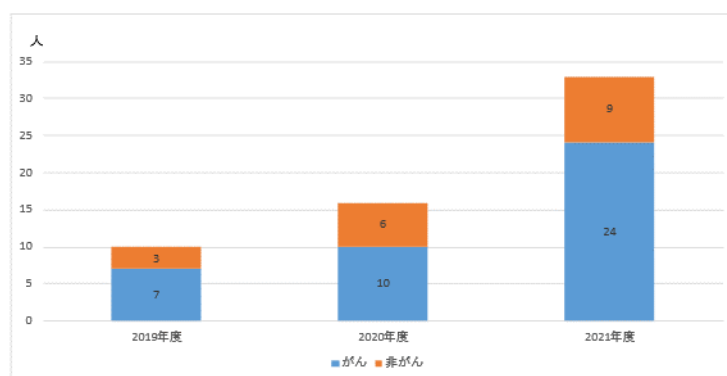
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2018年度	74	73	77	76	75	73	70	68	70	71	71	67	865
2019年度	69	70	69	76	70	73	77	76	80	84	88	92	924
2020年度	93	89	92	98	101	102	105	97	98	98	93	97	1163
2021年度	96	98	100	98	100	93	87	84	79	79	76	72	1062

【訪問回数の推移】

(単位：回)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2018年度	687	686	713	692	743	607	669	632	652	610	619	575	7,885
2019年度	626	611	617	743	650	543	585	616	633	699	672	713	7,708
2020年度	657	661	675	687	721	709	739	651	745	638	653	789	8,325
2021年度	679	711	812	678	688	673	650	652	615	542	512	591	7,803

年度別看取り件数



医事課診療情報管理係

【2021 年度 疾病中分類別・上位疾病別・病名数】

対象期間の全病名数：7,703 件

順位	コード	分 類 名	件数	構成比 (%)	延べ在院 日数	平均在院 日数	平均年齢
1	227	U07 原因不明の新たな疾患又はエマージェンシーコードの暫定分類	558	7.2	5,392	9.7	54.7
2	023	消化器の悪性新生物＜腫瘍＞	508	6.6	7,851	15.5	73.4
3	038	良性新生物＜腫瘍＞	357	4.6	1,652	4.6	67.4
4	096	その他の型の心疾患	307	4.0	5,411	17.6	77.7
5	111	口腔、唾液腺及び顎の疾患	269	3.5	782	2.9	33.4
6	106	外的因子による肺疾患	265	3.4	7,289	27.5	83.3
7	119	胆のう＜嚢＞、胆管及び膵の障害	245	3.2	3,230	13.2	70.9
8	094	虚血性心疾患	240	3.1	1,340	5.6	71.6
9	097	脳血管疾患	233	3.0	6,385	27.4	73.7
10	024	呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物＜腫瘍＞	223	2.9	3,541	15.9	71.7
11	116	腸のその他の疾患	202	2.6	2,311	11.4	68.5
12	079	水晶体の障害	189	2.5	379	2.0	75.5
13	146	腎不全	172	2.2	2,072	12.0	73.3
14	149	尿路系のその他の疾患	164	2.1	3,266	19.9	81.4
15	145	腎尿細管間質性疾患	149	1.9	2,194	14.7	69.0
16	102	インフルエンザ及び肺炎	147	1.9	1,880	12.8	60.0
17	204	股関節部及び大腿の損傷	142	1.8	4,228	29.8	83.2
18	030	男性生殖器の悪性新生物＜腫瘍＞	131	1.7	1,428	10.9	75.4
19	150	男性生殖器の疾患	127	1.6	954	7.5	72.5
20	135	脊椎障害	122	1.6	2,578	21.1	67.9
21	035	リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物＜腫瘍＞、原発と記載された又は推定されたもの	108	1.4	1,849	17.1	74.0
22	037	上皮内新生物＜腫瘍＞	94	1.2	761	8.1	71.2
22	114	ヘルニア	94	1.2	636	6.8	70.2
24	070	挿間性及び発作性障害	86	1.1	651	7.6	53.7

25	031	腎尿路の悪性新生物＜腫瘍＞	78	1.0	1,349	17.3	73.3
26	216	外因のその他及び詳細不明の作用	76	1.0	195	2.6	9.8
27	053	代謝障害	74	1.0	937	12.7	65.5
28	136	その他の脊柱障害	67	0.9	601	9.0	63.9
28	218	外科的及び内科的ケアの合併症、他に分類されないもの	67	0.9	917	13.7	74.0
30	034	部位不明確、続発部位及び部位不明の悪性新生物＜腫瘍＞	66	0.9	1,407	21.3	70.5
31	197	頭部損傷	65	0.8	968	14.9	70.3
32	113	虫垂の疾患	64	0.8	766	12.0	49.5
33	004	その他の細菌性疾患	63	0.8	1,427	22.7	74.4
34	223	特定の処置及び保健ケアのための保健サービスの利用者	62	0.8	349	5.6	56.6
35	001	腸管感染症	60	0.8	564	9.4	41.9
35	028	乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	60	0.8	405	6.8	67.6
35	098	動脈、細動脈及び毛細血管の疾患	60	0.8	715	11.9	73.6
38	112	食道、胃及び十二指腸の疾患	57	0.7	692	12.1	70.5
38	121	皮膚及び皮下組織の感染症	57	0.7	809	14.2	70.7
40	047	糖尿病	56	0.7	1,167	20.8	72.3
41	200	腹部、下背部、腰椎及び骨盤部の損傷	55	0.7	1,190	21.6	75.5
41	205	膝及び下腿の損傷	55	0.7	1,445	26.3	56.5
43	107	主として間質を障害するその他の呼吸器疾患	53	0.7	1,298	24.5	75.8
44	099	静脈、リンパ管及びリンパ節の疾患、他に分類されないもの	51	0.7	334	6.5	67.0
44	147	尿路結石症	51	0.7	400	7.8	64.9
46	120	消化器系のその他の疾患	50	0.6	656	13.1	74.3
46	202	肘及び前腕の損傷	50	0.6	567	11.3	64.2
48	118	肝疾患	48	0.6	1,391	29.0	66.6
49	104	上気道のその他の疾患	46	0.6	362	7.9	40.5
50	022	口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物＜腫瘍＞	39	0.5	504	12.9	64.2
50	144	糸球体疾患	39	0.5	563	14.4	51.9
50	201	肩及び上腕の損傷	39	0.5	545	14.0	55.1

【2021 年度 疾病中分類別・診療科別・病名数】

(単位：件)

	総 数	構 成 比 (%)	内 科	消化器内科	呼吸器内科	小 児 科	外 科	整形外科	産 婦 人 科	眼 科	耳鼻咽喉科	泌 尿 器 科
総 数	7,703	100.0	1,285	1,254	586	300	745	468	11	200	191	570
構 成 比 (%) ※	100.0	—	16.7	16.3	7.6	3.9	9.7	6.1	0.1	2.6	2.5	7.4
001 腸管感染症	60	0.8	9	31	—	18	1	—	—	—	—	—
002 結核	6	0.1	—	1	5	—	—	—	—	—	—	—
004 その他の細菌性疾患	63	0.8	35	11	10	—	—	1	—	—	—	1
010 節足動物媒介ウイルス熱及びウイルス性出血熱	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
011 皮膚及び粘膜病変を特徴とするウイルス感染症	18	0.2	1	—	—	6	—	—	—	—	—	—
012 ウイルス性肝炎	3	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—
014 その他のウイルス性疾患	18	0.2	5	1	3	8	—	—	—	—	—	—
015 真菌症	7	0.1	1	—	3	—	—	—	—	—	—	—
016 原虫疾患	3	—	—	—	2	—	1	—	—	—	—	—
017 ぜんく蠕虫症	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
022 口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物く腫瘍>	39	0.5	—	—	—	—	—	—	—	—	35	—
023 消化器の悪性新生物く腫瘍>	508	6.6	1	253	2	—	232	—	—	—	—	1
024 呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物く腫瘍>	223	2.9	—	—	179	—	2	—	—	—	2	—
026 皮膚の黒色腫及びその他の皮膚の悪性新生物く腫瘍>	9	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
027 中皮及び軟部組織の悪性新生物く腫瘍>	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
028 乳房の悪性新生物く腫瘍>	60	0.8	—	—	—	—	60	—	—	—	—	—
029 女性生殖器の悪性新生物く腫瘍>	4	0.1	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
030 男性生殖器の悪性新生物く腫瘍>	131	1.7	1	—	—	—	—	—	—	—	—	128
031 腎尿路の悪性新生物く腫瘍>	78	1.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	74
032 眼、脳及びその他の中枢神経系の部位の悪性新生物く腫瘍>	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
033 甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物く腫瘍>	7	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	5	—
034 部位不明確、続発部位及び部位不明の悪性新生物く腫瘍>	66	0.9	1	8	13	—	18	3	—	—	3	4
035 リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物く腫瘍>、原発と記載された又は推定されたもの	108	1.4	90	2	3	—	7	—	—	—	—	1
037 上皮内新生物く腫瘍>	94	1.2	—	39	1	—	6	—	—	—	1	41
038 良性新生物く腫瘍>	357	4.6	—	303	—	1	4	4	—	—	13	4
039 性状不詳又は不明の新生物く腫瘍>	20	0.3	10	6	—	—	—	—	—	—	—	1
040 栄養性貧血	8	0.1	3	4	—	—	—	—	—	—	—	—
041 溶血性貧血	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—

	皮膚科	歯科 口腔外科	脳神経外科	心臓血管外科	呼吸器外科	脳神経内科	循環器内科	精神・心療内科	緩和ケア科
総数	95	292	329	141	139	339	586	25	84
構成比（％）	1.3	4.1	4.6	2.0	1.9	4.7	8.1	0.3	1.2
001 腸管感染症	—	—	—	—	—	—	1	—	—
002 結核	—	—	—	—	—	—	—	—	—
004 その他の細菌性疾患	4	—	—	—	—	—	1	—	—
010 節足動物媒介ウイルス熱及びウイルス性出血熱	—	—	—	—	—	—	—	—	—
011 皮膚及び粘膜病変を特徴とするウイルス感染症	11	—	—	—	—	—	—	—	—
012 ウイルス性肝炎	—	—	—	—	—	1	—	—	—
014 その他のウイルス性疾患	—	—	—	—	—	1	—	—	—
015 真菌症	—	—	—	—	2	—	1	—	—
016 原虫疾患	—	—	—	—	—	—	—	—	—
017 ぜんく蠕虫症	—	—	—	—	—	—	—	—	—
022 口唇、口腔及び咽頭の悪性新生物＜腫瘍＞	—	3	—	—	—	—	—	—	1
023 消化器の悪性新生物＜腫瘍＞	—	—	—	—	—	—	—	—	19
024 呼吸器及び胸腔内臓器の悪性新生物＜腫瘍＞	—	—	—	—	30	—	1	—	9
026 皮膚の黒色腫及びその他の皮膚の悪性新生物＜腫瘍＞	8	—	—	—	—	—	—	—	1
027 中皮及び軟部組織の悪性新生物＜腫瘍＞	—	—	—	—	—	—	—	—	—
028 乳房の悪性新生物＜腫瘍＞	—	—	—	—	—	—	—	—	—
029 女性生殖器の悪性新生物＜腫瘍＞	—	—	—	—	—	—	—	—	2
030 男性生殖器の悪性新生物＜腫瘍＞	—	—	—	—	—	—	—	—	2
031 腎尿路の悪性新生物＜腫瘍＞	—	—	—	—	—	—	—	—	4
032 眼、脳及びその他の中枢神経系の部位の悪性新生物＜腫瘍＞	—	—	3	—	—	—	—	—	—
033 甲状腺及びその他の内分泌腺の悪性新生物＜腫瘍＞	—	—	—	—	—	—	—	—	2
034 部位不明確、続発部位及び部位不明の悪性新生物＜腫瘍＞	1	—	1	1	13	—	—	—	—
035 リンパ組織、造血組織及び関連組織の悪性新生物＜腫瘍＞、原発と記載された又は推定されたもの	1	—	—	—	—	1	—	—	3
037 上皮内新生物＜腫瘍＞	3	—	—	—	3	—	—	—	—
038 良性新生物＜腫瘍＞	6	4	7	1	10	—	—	—	—
039 性状不詳又は不明の新生物＜腫瘍＞	—	1	1	—	—	—	1	—	—
040 栄養性貧血	—	—	—	—	—	—	1	—	—
041 溶血性貧血	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※四捨五入誤差を含める

		総 数	構 成 比 (%)	内 科	消 化 器 内 科	呼 吸 器 内 科	小 児 科	外 科	整 形 外 科	産 婦 人 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	泌 尿 器 科
042	無形成性貧血及びその他の貧血	4	0.1	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—
043	凝固障害、紫斑病及びその他の出血性病態	17	0.2	7	2	1	4	1	—	—	—	—	—
044	血液及び造血器のその他の疾患	12	0.2	3	4	2	—	3	—	—	—	—	—
045	免疫機構の障害	5	0.1	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—
046	甲状腺障害	6	0.1	—	—	—	1	—	—	—	—	4	—
047	糖尿病	56	0.7	46	—	—	—	—	5	—	—	—	—
048	その他のグルコース調節及び膵内分泌障害	11	0.1	7	—	—	4	—	—	—	—	—	—
049	その他の内分泌腺障害	33	0.4	12	2	1	15	—	—	—	—	1	2
050	栄養失調（症）	3	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—
051	その他の栄養欠乏症	3	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—
053	代謝障害	74	1.0	40	8	4	5	6	—	—	—	2	2
054	症状性を含む器質性精神障害	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
055	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	6	0.1	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—
056	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	4	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
057	気分[感情]障害	8	0.1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
058	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	11	0.1	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—
059	生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
062	心理的発達の障害	2	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—
063	小児<児童>期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
065	中枢神経系の炎症性疾患	9	0.1	1	—	—	4	—	—	—	—	—	—
066	主に中枢神経系を障害する系統萎縮症	14	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
067	錐体外路障害及び異常運動	21	0.3	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
069	中枢神経系の脱髄疾患	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
070	挿間性及び発作性障害	86	1.1	1	—	1	9	—	—	—	—	34	—
071	神経、神経根及び神経そう<叢>の障害	16	0.2	—	—	—	2	1	4	—	—	5	—
072	多発（性）ニューロパチ<シ>—及びその他の末梢神経系の障害	4	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
073	神経筋接合部及び筋の疾患	4	0.1	1	—	—	2	—	—	—	—	—	—
075	神経系のその他の障害	27	0.4	2	—	—	1	—	—	—	—	—	—
076	眼瞼、涙器及び眼窩の障害	3	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—
078	強膜、角膜、虹彩及び毛様体の障害	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
079	水晶体の障害	189	2.5	—	—	—	—	—	—	—	189	—	—
080	脈絡膜及び網膜の障害	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
081	緑内障	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
084	眼筋、眼球運動、調節及び屈折の障害	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
088	中耳及び乳様突起の疾患	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
089	内耳疾患	16	0.2	—	—	—	1	1	—	—	—	12	—

		皮膚科	歯科 口腔外科	脳神経外科	心臓血管外科	呼吸器外科	脳神経内科	循環器内科	精神・心療内科	緩和ケア科
042	無形成性貧血及びその他の貧血	—	—	—	—	—	—	—	—	—
043	凝固障害、紫斑病及びその他の出血性病態	—	—	—	—	—	1	1	—	—
044	血液及び造血器のその他の疾患	—	—	—	—	—	—	—	—	—
045	免疫機構の障害	—	—	—	—	—	1	—	—	—
046	甲状腺障害	—	—	—	—	—	1	—	—	—
047	糖尿病	4	—	—	—	—	1	—	—	—
048	その他のグルコース調節及び膵内分泌障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—
049	その他の内分泌腺障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—
050	栄養失調（症）	—	—	—	—	—	—	—	—	—
051	その他の栄養欠乏症	—	—	—	—	—	1	—	—	—
053	代謝障害	—	—	—	—	1	1	4	1	—
054	症状性を含む器質性精神障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—
055	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	—	—	—	—	—	2	—	1	—
056	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	—	—	—	—	—	—	1	3	—
057	気分[感情]障害	—	—	—	—	—	—	—	7	—
058	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	—	—	—	—	—	3	—	6	—
059	生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	—	—	—	—	—	—	—	2	—
062	心理的発達の障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—
063	小児＜児童＞期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—
065	中枢神経系の炎症性疾患	—	—	1	—	—	3	—	—	—
066	主に中枢神経系を障害する系統萎縮症	—	—	—	—	—	14	—	—	—
067	錐体外路障害及び異常運動	—	—	—	—	—	20	—	—	—
069	中枢神経系の脱髄疾患	—	—	—	—	—	2	—	—	—
070	挿間性及び発作性障害	—	—	1	—	—	39	1	—	—
071	神経、神経根及び神経そう＜叢＞の障害	—	—	4	—	—	—	—	—	—
072	多発（性）ニューロパチ＜シ＞ー及びその他の末梢神経系の障害	—	—	1	—	—	3	—	—	—
073	神経筋接合部及び筋の疾患	—	—	—	—	—	1	—	—	—
075	神経系のその他の障害	—	—	8	—	—	14	2	—	—
076	眼瞼、涙器及び眼窩の障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—
078	強膜、角膜、虹彩及び毛様体の障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—
079	水晶体の障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—
080	脈絡膜及び網膜の障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—
081	緑内障	—	—	—	—	—	1	—	—	—
084	眼筋、眼球運動、調節及び屈折の障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—
088	中耳及び乳様突起の疾患	—	—	—	—	—	—	—	—	—
089	内耳疾患	—	—	1	—	—	1	—	—	—

	総 数	構 成 比 (%)	内 科	消 化 器 内 科	呼 吸 器 内 科	小 児 科	外 科	整 形 外 科	産 婦 人 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	泌 尿 器 科
090 耳のその他の障害	12	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	12	—
092 慢性リウマチ性心疾患	5	0.1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
093 高血圧性疾患	10	0.1	4	1	—	—	—	—	—	—	—	—
094 虚血性心疾患	240	3.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
095 肺性心疾患及び肺循環疾患	14	0.2	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—
096 その他の型の心疾患	307	4.0	23	1	6	—	—	—	—	—	—	—
097 脳血管疾患	233	3.0	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—
098 動脈、細動脈及び毛細血管の疾患	60	0.8	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1
099 静脈、リンパ管及びリンパ節の疾患、他に分類されないもの	51	0.7	3	8	—	2	—	—	—	—	—	2
100 循環器系のその他及び詳細不明の障害	5	0.1	—	1	—	—	—	—	—	—	1	—
101 急性上気道感染症	19	0.2	3	—	—	8	—	—	—	—	8	—
102 インフルエンザ及び肺炎	147	1.9	32	19	50	29	1	—	—	—	—	—
103 その他の急性下気道感染症	29	0.4	1	—	—	27	—	—	—	—	—	—
104 上気道のその他の疾患	46	0.6	1	—	—	—	—	—	—	—	44	—
105 慢性下気道疾患	37	0.5	2	—	22	12	—	—	—	—	—	—
106 外的因子による肺疾患	265	3.4	110	48	45	—	4	—	—	—	—	—
107 主として間質を障害するその他の呼吸器疾患	53	0.7	1	1	45	—	—	—	—	—	—	—
108 下気道の化膿性及びえく壊＞死性病態	21	0.3	1	2	17	—	—	—	—	—	—	—
109 胸膜のその他の疾患	30	0.4	1	1	9	—	—	—	—	—	—	—
110 呼吸器系のその他の疾患	4	0.1	—	—	3	—	1	—	—	—	—	—
111 口腔、唾液腺及び顎の疾患	269	3.5	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
112 食道、胃及び十二指腸の疾患	57	0.7	1	47	—	2	7	—	—	—	—	—
113 虫垂の疾患	64	0.8	—	—	—	—	64	—	—	—	—	—
114 ヘルニア	94	1.2	—	1	—	—	91	—	—	—	—	2
115 非感染性腸炎及び非感染性大腸炎	20	0.3	—	19	—	1	—	—	—	—	—	—
116 腸のその他の疾患	202	2.6	1	129	—	3	66	—	—	—	—	1
117 腹膜の疾患	11	0.1	3	4	—	—	4	—	—	—	—	—
118 肝疾患	48	0.6	6	41	—	—	1	—	—	—	—	—
119 胆のう＜囊＞、胆管及び膵の障害	245	3.2	2	147	—	—	94	—	—	—	—	2
120 消化器系のその他の疾患	50	0.6	1	26	—	—	22	—	—	—	—	1
121 皮膚及び皮下組織の感染症	57	0.7	8	1	—	4	—	—	—	—	2	—
122 水疱症	6	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
123 皮膚炎及び湿疹	4	0.1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
124 丘疹落せつ＜屑＞＜りんせつ＞＜鱗屑＞性障害	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
125 じんま＜蕁麻疹＞及び紅斑	5	0.1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
127 皮膚付属器の障害	6	0.1	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—
128 皮膚及び皮下組織のその他の障害	10	0.1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
129 感染性関節障害	6	0.1	2	—	—	1	—	3	—	—	—	—
130 炎症性多発性関節障害	25	0.3	14	3	3	—	—	3	—	—	—	—

	皮膚科	歯科口腔外科	脳神経外科	心臓血管外科	呼吸器外科	脳神経内科	循環器内科	精神・心療内科	緩和ケア科
090	耳のその他の障害	—	—	—	—	—	—	—	—
092	慢性リウマチ性心疾患	—	—	4	—	—	—	—	—
093	高血圧性疾患	—	—	1	—	—	4	—	—
094	虚血性心疾患	—	—	5	1	—	234	—	—
095	肺性心疾患及び肺循環疾患	—	—	—	—	—	11	—	—
096	その他の型の心疾患	—	—	27	1	1	248	—	—
097	脳血管疾患	—	—	82	—	147	—	—	—
098	動脈、細動脈及び毛細血管の疾患	1	—	5	24	1	27	—	—
099	静脈、リンパ管及びリンパ節の疾患、他に分類されないもの	1	—	1	30	—	4	—	—
100	循環器系のその他及び詳細不明の障害	—	—	—	—	3	—	—	—
101	急性上気道感染症	—	—	—	—	—	—	—	—
102	インフルエンザ及び肺炎	—	—	—	1	5	10	—	—
103	その他の急性下気道感染症	—	—	—	—	—	1	—	—
104	上気道のその他の疾患	—	—	1	—	—	—	—	—
105	慢性下気道疾患	—	—	—	—	—	1	—	—
106	外的因子による肺疾患	1	—	—	—	27	30	—	—
107	主として間質を障害するその他の呼吸器疾患	—	—	—	3	—	3	—	—
108	下気道の化膿性及びえく壊死性病態	—	—	—	1	—	—	—	—
109	胸膜のその他の疾患	—	—	—	18	—	1	—	—
110	呼吸器系のその他の疾患	—	—	—	—	—	—	—	—
111	口腔、唾液腺及び顎の疾患	—	268	—	—	—	—	—	—
112	食道、胃及び十二指腸の疾患	—	—	—	—	—	—	—	—
113	虫垂の疾患	—	—	—	—	—	—	—	—
114	ヘルニア	—	—	—	—	—	—	—	—
115	非感染性腸炎及び非感染性大腸炎	—	—	—	—	—	—	—	—
116	腸のその他の疾患	—	—	—	—	—	2	—	—
117	腹膜の疾患	—	—	—	—	—	—	—	—
118	肝疾患	—	—	—	—	—	—	—	—
119	胆のう<囊>、胆管及び膵の障害	—	—	—	—	—	—	—	—
120	消化器系のその他の疾患	—	—	—	—	—	—	—	—
121	皮膚及び皮下組織の感染症	38	1	—	—	1	2	—	—
122	水疱症	6	—	—	—	—	—	—	—
123	皮膚炎及び湿疹	3	—	—	—	—	—	—	—
124	丘疹落せつ<屑><りんせつ><鱗屑>性障害	—	—	—	—	—	—	—	—
125	じんま<蕁麻疹>疹及び紅斑	4	—	—	—	—	—	—	—
127	皮膚付属器の障害	4	—	—	—	—	—	—	—
128	皮膚及び皮下組織のその他の障害	7	—	—	—	1	1	—	—
129	感染性関節障害	—	—	—	—	—	—	—	—
130	炎症性多発性関節障害	—	—	—	—	2	—	—	—

	総 数	構 成 比 (%)	内 科	消化器内科	呼吸器内科	小 児 科	外 科	整 形 外 科	産 婦 人 科	眼 科	耳 鼻 咽 喉 科	泌 尿 器 科
131 関節症	38	0.5	—	1	—	—	—	37	—	—	—	—
132 その他の関節障害	5	0.1	—	—	—	—	—	5	—	—	—	—
133 全身性結合組織障害	21	0.3	5	2	3	8	—	1	—	—	—	—
135 脊椎障害	122	1.6	5	1	—	—	—	—	—	—	—	—
136 その他の脊柱障害	67	0.9	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—
137 筋障害	19	0.2	3	1	4	—	—	—	—	—	—	—
138 滑膜及び腱の障害	3	—	—	—	—	1	—	2	—	—	—	—
139 その他の軟部組織障害	5	0.1	1	—	—	—	—	4	—	—	—	—
140 骨の密度及び構造の障害	10	0.1	1	—	—	—	—	6	—	—	—	—
141 その他の骨障害	7	0.1	—	—	—	—	—	4	—	—	—	—
143 筋骨格系及び結合組織のその他の障害	5	0.1	—	—	—	—	—	5	—	—	—	—
144 糸球体疾患	39	0.5	37	—	—	—	—	—	—	—	2	—
145 腎尿細管間質性疾患	149	1.9	44	10	6	—	1	—	—	—	—	79
146 腎不全	172	2.2	143	2	2	—	2	—	—	—	—	5
147 尿路結石症	51	0.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	51
148 腎及び尿管のその他の障害	8	0.1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	7
149 尿路系のその他の疾患	164	2.1	77	30	11	1	4	—	—	—	—	20
150 男性生殖器の疾患	127	1.6	2	—	—	—	—	—	—	—	—	124
151 乳房の障害	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
152 女性骨盤臓器の炎症性疾患	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
153 女性生殖器の非炎症性障害	13	0.2	—	—	1	—	—	—	11	—	—	1
154 腎尿路生殖器系のその他の障害	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
172 周産期に発生したその他の障害	5	0.1	—	—	—	5	—	—	—	—	—	—
173 神経系の先天奇形	2	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—
174 眼、耳、顔面及び頸部の先天奇形	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
175 循環器系の先天奇形	7	0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
178 消化器系のその他の先天奇形	3	—	—	1	—	—	—	—	—	—	1	—
180 腎尿路系の先天奇形	4	0.1	3	—	—	—	—	—	—	—	—	1
181 筋骨格系の先天奇形及び変形	3	—	—	—	—	1	—	2	—	—	—	—
182 その他の先天奇形	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
183 染色体異常、他に分類されないもの	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
184 循環器系及び呼吸器系に関する症状及び徴候	5	0.1	—	—	4	—	—	—	—	—	—	—
185 消化器系及び腹部に関する症状及び徴候	3	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—
187 神経系及び筋骨格系に関する症状及び徴候	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
188 腎尿路系に関する症状及び徴候	3	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	1
189 認識、知覚、情緒状態及び行動に関する症状及び徴候	4	0.1	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—
191 全身症状及び徴候	17	0.2	4	1	—	1	—	—	—	—	—	—
193 尿検査の異常所見、診断名の記載がないもの	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
197 頭部損傷	65	0.8	1	—	—	1	1	4	—	—	—	—

	皮膚科	歯科 口腔外科	脳神経外科	心臓血管外科	呼吸器外科	脳神経内科	循環器内科	精神・心療内科	緩和ケア科
131 関節症	—	—	—	—	—	—	—	—	—
132 その他の関節障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—
133 全身性結合組織障害	—	—	—	—	—	1	1	—	—
135 脊椎障害	1	—	113	—	—	—	2	—	—
136 その他の脊柱障害	—	—	64	—	—	1	—	—	—
137 筋障害	1	—	1	—	—	6	3	—	—
138 滑膜及び腱の障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—
139 その他の軟部組織障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—
140 骨の密度及び構造の障害	—	—	2	—	—	1	—	—	—
141 その他の骨障害	1	—	1	—	—	1	—	—	—
143 筋骨格系及び結合組織のその他の障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—
144 糸球体疾患	—	—	—	—	—	—	—	—	—
145 腎尿細管間質性疾患	—	—	—	—	—	3	6	—	—
146 腎不全	—	—	—	17	—	1	—	—	—
147 尿路結石症	—	—	—	—	—	—	—	—	—
148 腎及び尿管のその他の障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—
149 尿路系のその他の疾患	1	—	—	—	—	10	10	—	—
150 男性生殖器の疾患	—	—	—	—	—	1	—	—	—
151 乳房の障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—
152 女性骨盤臓器の炎症性疾患	—	—	—	—	—	1	—	—	—
153 女性生殖器の非炎症性障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—
154 腎尿路生殖器系のその他の障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—
172 周産期に発生したその他の障害	—	—	—	—	—	—	—	—	—
173 神経系の先天奇形	—	—	—	—	—	—	—	—	—
174 眼、耳、顔面及び頸部の先天奇形	1	—	—	—	—	—	—	—	—
175 循環器系の先天奇形	—	—	1	2	1	—	3	—	—
178 消化器系のその他の先天奇形	—	1	—	—	—	—	—	—	—
180 腎尿路系の先天奇形	—	—	—	—	—	—	—	—	—
181 筋骨格系の先天奇形及び変形	—	—	—	—	—	—	—	—	—
182 その他の先天奇形	—	—	—	—	—	—	—	—	—
183 染色体異常、他に分類されないもの	—	—	—	—	—	1	—	—	—
184 循環器系及び呼吸器系に関する症状及び徴候	—	—	—	—	1	—	—	—	—
185 消化器系及び腹部に関する症状及び徴候	—	—	—	—	—	—	—	—	—
187 神経系及び筋骨格系に関する症状及び徴候	—	—	—	—	—	—	—	—	—
188 腎尿路系に関する症状及び徴候	—	—	—	—	—	—	—	—	—
189 認識、知覚、情緒状態及び行動に関する症状及び徴候	—	—	1	—	—	1	—	—	—
191 全身症状及び徴候	—	—	—	—	8	2	1	—	—
193 尿検査の異常所見、診断名の記載がないもの	—	—	—	—	—	—	—	—	—
197 頭部損傷	—	8	48	—	—	2	—	—	—

	総 数	構成比 (%)	内 科	消化器 内科	呼吸器 内科	小 児 科	外 科	整形 外科	産婦 人科	眼 科	耳鼻 咽喉科	泌尿 器科
198 頸部損傷	13	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
199 胸部＜郭＞損傷	23	0.3	1	—	—	—	1	1	—	—	—	—
200 腹部、下背部、腰椎及び骨盤部の損傷	55	0.7	4	—	1	—	6	17	—	—	—	4
201 肩及び上腕の損傷	39	0.5	—	—	—	—	—	39	—	—	—	—
202 肘及び前腕の損傷	50	0.6	—	—	—	—	—	50	—	—	—	—
203 手首及び手の損傷	9	0.1	—	—	—	—	—	9	—	—	—	—
204 股関節部及び大腿の損傷	142	1.8	2	—	—	—	—	140	—	—	—	—
205 膝及び下腿の損傷	55	0.7	—	—	—	—	—	55	—	—	—	—
206 足首及び足の損傷	5	0.1	—	—	—	—	—	5	—	—	—	—
207 多部位の損傷	4	0.1	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—
208 部位不明の体幹もしくは（四）肢の損傷又は部位不明の損傷	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
209 自然開口部からの異物侵入の作用	4	0.1	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—
210 体表面の熱傷及び腐食、明示された部位	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
214 薬物、薬剤及び生物学的製剤による中毒	27	0.4	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
215 薬用を主としない物質の毒作用	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
216 外因のその他及び詳細不明の作用	76	1.0	4	3	—	69	—	—	—	—	—	—
217 外傷の早期合併症	2	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
218 外科的及び内科的ケアの合併症、他に分類されないもの	67	0.9	10	2	1	—	13	5	—	—	—	5
219 損傷、中毒及びその他の外因による影響の続発・後遺症	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
220 検査及び診査のための保健サービスの利用者	5	0.1	—	5	—	—	—	—	—	—	—	—
221 伝染病に関連する健康障害をきたす恐れのある者	2	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—
223 特定の処置及び保健ケアのための保健サービスの利用者	62	0.8	—	2	—	—	15	45	—	—	—	—
226 家族歴、既往歴及び健康状態に影響をおよぼす特定の状態に関連する健康障害をきたす恐れのある者	15	0.2	—	1	1	—	—	—	—	6	—	—
227 U07 エマージェンシーコードの暫定分類	558	7.2	410	3	113	30	—	—	—	—	—	—
U08-U12 エマージェンシーコードの暫定分類	8	0.1	2	—	4	1	—	—	—	—	—	—

	皮膚科	歯科 口腔外科	脳神経外科	心臓血管外科	呼吸器外科	脳神経内科	循環器内科	精神・心療内科	緩和ケア科
198 頸部損傷	—	—	13	—	—	—	—	—	—
199 胸部＜郭＞損傷	—	—	14	—	6	—	—	—	—
200 腹部、下背部、腰椎及び骨盤部の損傷	—	—	23	—	—	—	—	—	—
201 肩及び上腕の損傷	—	—	—	—	—	—	—	—	—
202 肘及び前腕の損傷	—	—	—	—	—	—	—	—	—
203 手首及び手の損傷	—	—	—	—	—	—	—	—	—
204 股関節部及び大腿の損傷	—	—	—	—	—	—	—	—	—
205 膝及び下腿の損傷	—	—	—	—	—	—	—	—	—
206 足首及び足の損傷	—	—	—	—	—	—	—	—	—
207 多部位の損傷	—	—	1	—	—	—	—	—	—
208 部位不明の体幹もしくは（四）肢の損傷又は部位不明の損傷	—	—	—	—	—	—	—	—	—
209 自然開口部からの異物侵入の作用	—	—	—	—	—	2	—	—	—
210 体表面の熱傷及び腐食、明示された部位	2	—	—	—	—	—	—	—	—
214 薬物、薬剤及び生物学的製剤による中毒	—	—	—	—	—	—	—	26	—
215 薬用を主としない物質の毒作用	—	—	—	—	—	—	—	1	—
216 外因のその他及び詳細不明の作用	—	—	—	—	—	—	—	—	—
217 外傷の早期合併症	—	—	—	—	—	1	—	—	—
218 外科的及び内科的ケアの合併症、他に分類されないもの	—	—	6	21	—	2	2	—	—
219 損傷、中毒及びその他の外因による影響の続発・後遺症	—	—	—	—	—	—	—	—	—
220 検査及び診査のための保健サービスの利用者	—	—	—	—	—	—	—	—	—
221 伝染病に関連する健康障害をきたす恐れのある者	—	—	—	—	—	—	—	—	—
223 特定の処置及び保健ケアのための保健サービスの利用者	—	—	—	—	—	—	—	—	—
226 家族歴、既往歴及び健康状態に影響をおよぼす特定の状態に関連する健康障害をきたす恐れのある者	—	—	—	5	—	—	—	—	2
227 U07 エマージェンシーコードの暫定分類	—	—	—	—	—	2	—	—	—
U08-U12 エマージェンシーコードの暫定分類	—	—	—	—	—	—	1	—	—

【2021 年（1～12 月度） 地区別・診療科別退院患者数】

退院患者数には転科を含む（単位：件）

	滋賀県											
	大津市			湖南			湖東			その他		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
内 科	1,16	616	551	59	38	21	18	15	3	10	7	3
消化器内科	1,16	703	465	45	30	15	9	5	4	5	5	0
呼吸器内科	531	351	180	28	18	10	6	2	4	9	4	5
小 児 科	287	155	132	5	1	4	2	0	2	0	0	0
外 科	695	368	327	24	15	9	2	1	1	2	1	1
整 形 外 科	443	148	295	9	7	2	1	1	0	2	1	1
産 婦 人 科	6	0	6	1	0	1	1	0	1	0	0	0
眼 科	195	74	121	1	0	1	0	0	0	0	0	0
耳鼻咽喉科	174	110	64	7	5	2	1	0	1	2	1	1
泌 尿 器 科	518	430	88	31	27	4	9	6	3	4	4	0
皮 膚 科	101	58	43	3	1	2	1	0	1	0	0	0
歯科口腔外科	256	108	148	12	4	8	7	4	3	6	3	3
脳神経外科	341	194	147	12	8	4	9	0	9	6	6	0
心臓血管外科	130	69	61	4	3	1	0	0	0	0	0	0
呼吸器外科	82	53	29	7	4	3	6	2	4	2	1	1
脳神経内科	321	181	140	8	7	1	2	2	0	2	1	1
循環器内科	578	345	233	24	18	6	5	3	2	1	1	0
精神・心療内科	39	6	33	5	4	1	0	0	0	0	0	0
緩和ケア科	39	22	17	4	2	2	0	0	0	0	0	0
比率 (%)	91.9%			3.8%			1.0%			0.7%		
合 計	7,071	3,991	3,080	389	192	97	79	41	38	51	35	16

	京都府						他府県			合 計			比率 (%)
	山科地区			その他									
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	
内 科	7	6	1	13	10	3	11	9	2	1,285	701	584	16.7
消化器内科	9	5	4	10	5	5	8	6	2	1,254	759	495	16.3
呼吸器内科	3	1	2	4	3	1	3	1	2	584	380	204	7.6
小 児 科	0	0	0	1	0	1	5	1	4	300	157	143	3.9
外 科	8	2	6	3	3	0	9	8	1	743	398	345	9.7
整 形 外 科	3	2	1	4	4	0	4	4	0	466	167	299	6.1
産 婦 人 科	0	0	0	3	0	3	0	0	0	11	0	11	0.1
眼 科	2	0	2	0	0	0	2	2	0	200	76	124	2.6
耳鼻咽喉科	3	0	3	4	2	2	0	0	0	191	118	73	2.5
泌 尿 器 科	2	2	0	2	0	2	4	4	0	570	473	97	7.4
皮 膚 科	0	0	0	4	0	4	0	0	0	109	59	50	1.4
歯科口腔外科	0	0	0	5	2	3	1	0	1	287	121	166	3.7
脳神経外科	5	4	1	19	9	10	12	7	5	404	228	176	5.2
心臓血管外科	2	1	1	2	2	0	1	0	1	139	75	64	1.8
呼吸器外科	0	0	0	1	1	0	2	0	2	100	61	39	1.3
脳神経内科	2	0	2	1	0	1	3	3	0	339	194	145	4.4
循環器内科	6	4	2	9	5	4	1	0	1	624	376	248	8.1
精神・心療内科	0	0	0	3	2	1	0	0	0	47	12	35	0.6
緩和ケア科	1	1	0	1	0	1	0	0	0	45	25	20	0.6
比率 (%)	0.7%			1.2%			0.9%						
合 計	53	28	25	89	48	41	66	45	21	7,698	4,380	3,318	

【部位（大分類）別・診断年別・腫瘍数（2020年診断）】

		総数	構成比 (%)			総数	構成比 (%)
総数	計	702	100.0	09 (C49) 結合組織、皮下組織及び その他の軟部組織	計	3	0.6
	男	438	62.4		男	1	0.7
	女	264	37.6		女	2	0.4
構成比 (%)	計		100.0	10 (C50) 乳房	計	49	7.0
	男		100.0		男	—	—
	女		100.0		女	49	18.6
01 (C00-C14) 口唇、口腔及び咽頭	9	9	1.6	11 (C51-C58) 女性性器	計	2.1	2.1
	5	5	2.3		男	—	—
	4	4	0.6		女	5.7	5.7
02 (C15-C26) 消化器	335	335	47.7	12 (C60-C63) 男性性器	計	8.7	8.7
	204	204	46.6		男	13.9	13.9
	131	131	49.6		女	—	—
03 (C30-C39) 呼吸器系及び胸腔内臓 器	113	113	16.1	13 (C64-C68) 尿路	計	7.5	7.5
	84	84	19.2		男	9.8	9.8
	29	29	11.0		女	3.8	3.8
04 (C40-C41) 骨、関節及び関節軟骨	1	1	0.1	14 (C69-C72) 眼、脳及びその他の 中枢神経系	計	1.3	1.3
	1	1	0.2		男	1.1	1.1
	—	—	—		女	1.5	1.5
05 (C42) 造血系及び細網内皮系	25	25	3.6	15 (C73-C75) 甲状腺及びその他の 内分泌腺	計	0.4	0.4
	16	16	3.7		男	0.2	0.2
	9	9	3.4		女	0.8	0.8
06 (C44) 皮膚	9	9	1.3	16 (C76) その他及び不明確な部位	計	0.3	0.3
	4	4	0.9		男	0.2	0.2
	5	5	1.9		女	0.4	0.4
07 (C47) 末梢神経及び自律神経 系	—	—	—	17 (C77) リンパ節	計	1.4	1.4
	—	—	—		男	2.1	2.1
	—	—	—		女	0.4	0.4
08 (C48) 後腹膜及び腹膜	3	3	0.4	18 (C80) 原発部位不明	計	0.1	0.1
	1	1	0.2		男	—	—
	2	2	0.8		女	0.4	0.4

【部位（中分類）別・診断年別・腫瘍数（2020年診断）】

		総数	構成比 (%)			総数	構成比 (%)
総数	計	869	100.0	C18 結腸	計	109	15.5
	男	525	60.4		男	59	13.5
	女	344	39.6		女	50	18.9
構成比 (%)	計		100.0	C19 直腸S状結腸移行部	計	9	1.3
	男		100.0		男	5	1.1
	女		100.0		女	4	1.5
C01 舌根部	計	1	0.1	C20 直腸	計	42	6.0
	男	1	0.2		男	29	6.6
	女	—	—		女	13	4.9
C02 その他及び部位不明の舌	計	1	0.1	C21 肛門及び肛門管	計	1	0.1
	男	—	—		男	1	0.2
	女	1	0.4		女	—	—
C03 歯肉	計	2	0.3	C22 肝及び肝内胆管	計	42	6.0
	男	2	0.5		男	29	6.6
	女	—	—		女	13	4.9
C06 その他及び部位不明の口腔	計	2	0.3	C23 胆のう	計	1	0.1
	男	—	—		男	1	0.2
	女	2	0.8		女	—	—
C07 耳下腺	計	1	0.1	C24 その他及び部位不明の胆道	計	7	1.0
	男	—	—		男	5	1.1
	女	1	0.4		女	2	0.8
C09 扁桃	計	1	0.1	C25 脾	計	31	4.4
	男	1	0.2		男	13	3.0
	女	—	—		女	18	6.8
C10 中咽頭	計	1	0.1	C31 副鼻腔	計	1	0.1
	男	1	0.2		男	1	0.2
	女	—	—		女	—	—
C15 食道	計	8	1.1	C32 喉頭	計	3	0.4
	男	6	1.4		男	3	0.7
	女	2	0.8		女	—	—
C16 胃	計	76	10.8	C34 気管支及び肺	計	101	14.4
	男	51	11.6		男	74	16.9
	女	25	9.5		女	27	10.2
C17 小腸	計	4	0.6	C37 胸腺	計	3	0.4
	男	4	0.9		男	2	0.5
	女	—	—		女	1	0.4

		総数	構成比 (%)			総数	構成比 (%)		
C38	心臓、縦隔及び胸膜	計	5	0.7	C64	腎	計	15	2.1
		男	4	0.9			男	11	2.5
		女	1	0.4			女	4	1.5
C41	その他及び部位不明の骨、関節及び関節軟骨	計	1	0.1	C65	腎盂	計	5	0.7
		男	1	0.2			男	5	1.1
		女	—	—			女	—	—
C42	造血系及び細網内皮系	計	25	3.6	C66	尿管	計	8	1.1
		男	16	3.7			男	8	1.8
		女	9	3.4			女	—	—
C44	皮膚	計	9	1.3	C67	膀胱	計	25	3.6
		男	4	0.9			男	19	4.3
		女	5	1.9			女	6	2.3
C48	後腹膜及び腹膜	計	3	0.4	C69	眼及び付属器	計	2	0.3
		男	1	0.2			男	2	0.5
		女	2	0.8			女	—	—
C49	結合組織、皮下組織及びその他の軟部組織	計	4	0.6	C70	髄膜	計	5	0.7
		男	3	0.7			男	1	0.2
		女	1	0.4			女	4	1.5
C50	乳房	計	49	7.0	C71	脳	計	2	0.3
		男	—	—			男	2	0.5
		女	49	18.6			女	—	—
C51	外陰	計	3	0.4	C73	甲状腺	計	2	0.3
		男	—	—			男	—	—
		女	3	1.1			女	2	0.8
C53	子宮頸	計	2	0.3	C74	副腎	計	1	0.1
		男	—	—			男	1	0.2
		女	2	0.8			女	—	—
C54	子宮体部	計	6	0.9	C76	その他及び不明確な部位	計	2	0.3
		男	—	—			男	1	0.2
		女	6	2.3			女	1	0.4
C56	卵巣	計	4	0.6	C77	リンパ節	計	10	1.4
		男	—	—			男	9	2.1
		女	4	1.5			女	1	0.4
C60	陰茎	計	1	0.1	C80	原発部位不明	計	1	0.1
		男	1	0.2			男	—	—
		女	—	—			女	1	0.4
C61	前立腺	計	54	7.7					
		男	54	12.3					
		女	—	—					
C62	精巣	計	3	0.4					
		男	3	0.7					
		女	—	—					
C63	その他及び部位不明の男性性器	計	3	0.4					
		男	3	0.7					
		女	—	—					

臨床研修センター

研修医・専攻医（後期研修医）を中心に、すべての医療関係者個々の臨床学習を支援しています。実り多い研修にするためには、医療ニーズに触れ、ニーズを満たすために必要な力を個々がMy goalを設定して取り組むことが肝要です。臨床研修センターは研修事業の充実への最大限の支援体制を目指しています。

【初期臨床研修支援事業】

医科初期臨床研修においては、マッチング採用の当院研修希望者に加え、京都府立医科大学附属病院、京都大学医学部附属病院及び滋賀医科大学医学部附属病院からのたすきがけ研修医を受け入れている。

■2021 年度研修者

(医科)

・2 年次

市立大津市民病院採用 9 名

・1 年次

市立大津市民病院採用 9 名

京都府立医科大学たすきがけコース 1 名

滋賀医科大学たすきがけコース 1 名

京都大学たすきがけコース 1 名

(歯科)

・1 年次

市立大津市民病院採用 1 名

臨床研修センターロゴマーク



武士（もののふ）の
やばせの舟は早けれど
急がば回れ瀬田の長橋

【2021 年度の主な事業】

<シミュレーション研修>

研修医及び新規採用看護師を対象に、オリエンテーションの一環として患者への注射等のシミュレーションを実施した。外部の研修会場にて動画での講義及び専門の用具を利用し、実現場に近い状態での研修となった。

<実習生受入れ>

医師、看護師、コメディカル等医療職の資格取得を目指す学生の実習先として、2021 度も多くの学生実習を受入れた。次年度以降においても現場職員と調整し、学生の受入を継続する予定である。

院内研修への参加

CPC、医療安全研修会、感染対策研修会、各セミナー・講演会等

院外研修

WATCH in Shiga、基本的臨床能力評価試験、救急車同乗研修等

【院内研修支援事業】

<蘇生研修事業>

BLS 研修は、全ての職員に一定の患者救急対応能力を持たせ安全管理の充実を図ることを目的に、医師を除く全職員を対象に行っている。2021 度については、新型コロナウイルス感染症の対応のため実施できなかったが、2022 年度は開催予定である。

また ICLS 研修は、緊急性の高い病態のうち、特に「突然の心停止に対する最初の 10 分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目的としており、約 1 日をかけて蘇生のために必要な技術や蘇生現場でのチーム医療を身につける。2021 年度については、日本救急医学会の基準に基づき、研修医・コメディカルを対象に実施した。

なお、ICLS 研修は新型コロナウイルス感染症の感染リスクを鑑み、少人数での開催を基本とした。

■ICLS 研修

開催回数：1 回、受講者数：12 名



【後期臨床研修支援事業】

■2021 年度在籍者（4 月 1 日時点）

内科専攻医	6 名
麻酔科専医	1 名
（うち市立大津市民病院麻酔科専門研修プログラム 1 名）	
その他専攻医	6 名